

平成29年度 第4次邑楽町行政改革大綱施策評価シート(結果)

基本施策	基本施策	取組状況 (PD)	課題捉方 (C)	改善方法 (A)	総合評価
施策(1)広報・広聴活動の充実	・広報紙・ホームページをはじめ、おうらお知らせメール、防災行政無線を活用した屋外広報だけでなく、SNSに関する調査・研究・導入を進めるなど、多様な広報手段を活用し、効果的な広報活動を展開します。	37.50点	18.75点	19.14点	75.39点
施策(1)広報・広聴活動の充実	・地区座談会やみんなの講座、町民アンケートなど、多様な広聴手段を研究し、町民の意見を広く伺う機会を充実させます。	25.00点	16.02点	16.41点	57.43点
施策(2)町政への参画機会の充実	・各種計画の策定などに際し、パブリックコメント制度の活用をはじめ、説明会の実施や審議会・委員会を設置するなど、幅広く町民の参画を促す機会の創出を推進します。	37.50点	16.02点	17.58点	71.10点
施策(3)まちづくりの人材育成	・まちづくりに関する情報提供や学習機会を提供することで、町民一人ひとりのまちづくりへの意識の向上を図るとともに、まちづくりを支えるNPO・ボランティア団体などの育成と活動支援に努めます。	50.00点	21.10点	20.31点	91.41点
施策(4)協働のまちづくり活動の推進	・様々な分野における公共的課題の解決や、町民の自主性と提案に基づいたまちづくり活動を推進していくため、NPO・ボランティア団体などに対し、活動に関する情報の相互共有や相談窓口の機能強化を図ります。また、事業内容に応じた費用を補助する「協働のまちづくり事業補助制度」などの支援の充実を図るとともに、協働事業の目的・内容・実施状況及び結果を公開し、常に事業の改善が図れるよう努めます。	50.00点	16.02点	19.53点	85.55点
施策(5)行政区活動への支援	・地域活動を充実させるため、活動機会の紹介や行政及び行政区相互の情報共有を図るとともに、必要に応じた助言・指導や地域リーダーの養成研修を行います。また、自治会組織の運営が円滑に運ぶよう、法人格取得(認可地縁団体)に対する支援を行います。	50.00点	16.02点	17.58点	83.60点
施策(6)地域コミュニティ活動の支援	・地域コミュニティ意識の醸成のため、広報紙・ホームページなどを利用した啓発事業を推進するとともに、地域文化活動等の地域づくりに対して助成などの支援に努めます。	25.00点	17.19点	17.97点	60.16点
施策(7)地域集会施設の整備推進	・行政区の活動拠点となる地域集会施設の整備や、地域コミュニティ活動に必要な備品整備の支援を図ります。	50.00点	19.53点	19.53点	89.06点
施策(8)町民コミュニティ活動の推進	・おうら中央公園周辺において、おうら中央多目的広場や建設予定の中央公民館などを利用し、町民の一体感を醸成するための様々な祭りやイベントを企画するとともに、町民が自発的かつ主体的にコミュニティ活動に取り組みやすい環境を創出します。	37.50点	20.31点	17.58点	75.39点
施策(9)行政サービスの近代化・効率化	・電子申請システムなどのインターネットを活用した行政手続きの簡素化については、利用者の利便性だけでなく事務の効率性やコスト面も含めて調査・検討していきます。また、マイナンバー制度の円滑な利用について調査・研究し、町民サービスの向上を図ります。	50.00点	18.75点	16.80点	85.55点
施策(10)行政事務の近代化・効率化	・行政事務の効率化を図るため、国や県、近隣市町などと歩調を合わせながら、文書管理や決裁、地理情報などの業務の電子化を推進するとともに、セキュリティ水準の向上や災害に強い基盤を構築させるため、基幹系(住民情報・税情報等)システムに続き、情報系(グループウェア・財務会計等)システムのクラウド化を推進します。	37.50点	14.85点	16.02点	68.37点
施策(11)情報セキュリティ体制の強化	・本町の情報資産について適切に保護・管理するため、「邑楽町情報セキュリティポリシー」に基づき、物理的対策や人的対策及び技術的対策を推進します。また、日々新たに出現する脅威に対しては、「邑楽町情報セキュリティポリシー」の見直しも視野に入れ、より一層の強化に取り組めます。	50.00点	19.92点	19.53点	89.45点
施策(12)情報教育の推進	・学校での情報教育の推進はもとより、公民館をはじめ様々な機会を捉えたパソコン教室の開催など、情報教育の推進を図ります。	25.00点	16.41点	17.19点	58.60点
施策(13)効率・効果的な行政運営の確立	・BPRの手法やICTの活用など、新たな業務改善方法を研究していくことで、町民サービスに直結する窓口業務の見直しや効率化を図り、時代に対応した行政サービスに取り組んでいきます。	37.50点	16.02点	16.80点	70.32点
施策(13)効率・効果的な行政運営の確立	・社会教育事業を効率よく推進するため、社会教育施設間の連携強化はもとより、事業の統合や事務の効率化を図ります。	37.50点	19.14点	19.14点	75.78点
施策(14)機能的な組織の構築と職員の資質向上	・時代の変化に適應した組織機構とするため、機構改革や人員配置について検証を進めるとともに、窓口・電話対応の接遇研修など計画的な職員研修の充実による政策能力等の育成と人事・定員管理を推進します。	25.00点	17.19点	17.97点	60.16点
施策(14)機能的な組織の構築と職員の資質向上	・人事評価制度を活用して、職員の仕事に対する意欲、向上心、達成感を引き出し、意識改革を図ります。職員一人ひとりの意欲を向上させることにより、組織全体を活性化させます。	25.00点	16.80点	16.41点	58.21点
施策(15)計画的な事業の執行と行政評価の推進	・総合計画等の長期計画に基づき、選択と集中による計画的な事業を推進するとともに、基本計画と予算編成の連動を図ります。また、行政評価システムの導入による検証と行政評価を推進します。	37.50点	19.92点	19.14点	76.56点

基本施策	基本施策	取組状況 (PD)	課題捉方 (C)	改善方法 (A)	総合評価
施策(16)公共施設の適正な管理	・人口減少等により公共施設等の利用需要が変化していくことが予想されることを踏まえ、「公共施設等総合管理計画」を策定し、長期的な視点をもって、更新・統廃合・長寿命化などを行うことにより、財政負担を軽減・平準化するとともに、公共施設等の最適な配置を実現します。	50.00点	19.14点	19.92点	89.06点
施策(17)民間活力の活用	・行政事務や施設管理のあり方について検証を行い、効率・利便性を考慮したうえで、定型業務の民間委託や公の施設の指定管理者制度などの活用を研究していきます。また、PPP/PFIなどの手法を研究し、民間活力の活用を推進していきます。	37.50点	18.36点	18.36点	74.22点
施策(18)計画的な財政運営	・中長期的視野に基づいた継続的な収支均衡と義務的経費や経常的経費の節減、財政状況の分析、補助金の見直しも含めた事務事業の慎重な選択など健全な財政運営を推進します。また、財政状況を定期的に公開し透明性の高い予算執行に努めます。	12.50点	13.28点	16.02点	41.80点
施策(18)計画的な財政運営	・地方公会計の整備を図ることにより、資産や債務の正確な把握と管理を行い、予算編成や決算分析に活用していくとともに、財務情報の分かりやすい開示に努めます。	37.50点	16.80点	14.45点	68.75点
施策(18)計画的な財政運営	・下水道事業の経営基盤強化や財政マネジメントの向上に向けて、公営企業会計の導入について調査・研究していきます。	25.00点	12.11点	13.28点	50.39点
施策(19)財源(歳入)の確保	・適正な税の賦課に努めるとともに、個人住民税の特別徴収一斉指定及び口座振替の推奨など納税者の利便性を確保し収納率の向上を図ります。また、長期滞納者や高額滞納者などについては、納税への理解促進を図るとともに、「群馬県東部地区不動産合同売却」などを活用し適切な滞納処分を行います。	50.00点	17.19点	16.02点	83.21点
施策(19)財源(歳入)の確保	・国や県の資金の導入、有利な地方債の活用等を図り、一般財源の充当を抑制します。	25.00点	10.55点	14.85点	50.40点
施策(19)財源(歳入)の確保	・広告事業などによる収入の確保を図ります。	50.00点	17.97点	19.53点	87.50点
施策(19)財源(歳入)の確保	・土地利用計画の調整を行い、新たな産業団地の造成を推進するとともに、雇用創出や産業振興に大きく寄与する企業誘致等を推進します。	25.00点	18.36点	16.80点	60.16点
施策(20)公有財産の適正管理	・公有財産については、適正な管理と利用に努め、未利用の普通財産については、処分または貸付け等の有効活用を図ります。	25.00点	17.19点	16.41点	58.60点
施策(20)公有財産の適正管理	・公金については、最も有利かつ確実な運用に努めるとともに、適正で効率的な出納の執行や物品などの管理を行います。	25.00点	17.58点	17.19点	59.77点
施策(21)経費の削減と使用料の適正化	・県内市町村と電子入札システムを共同利用し、事務効率の向上や運用経費の抑制を図ります。また、公平で競争性の高い入札を推進します。	37.50点	19.53点	19.14点	76.17点
施策(21)経費の削減と使用料の適正化	・庁舎内の郵送料、電話料、電気料等事務的経費の節減を図るため、職員のコスト意識の向上や消耗品などの管理徹底を図ります。	50.00点	15.24点	16.02点	81.26点
施策(21)経費の削減と使用料の適正化	・各種使用料や手数料を見直し、受益者負担を基本とした料金体系の整備を検討します。	50.00点	20.31点	19.53点	89.84点
施策(22)事務組合の推進と強化	・可燃ごみ処理施設の広域化など既存の一部事務組合を構成する市町との連携を強化するとともに、共通の行政課題への対応や、さらなる事務の効率化に向けて、効果的な共同処理のあり方など、事務組合の充実・強化に努めます。	37.50点	15.63点	14.45点	67.58点
施策(23)広域協議会などによる連携	・公共交通や都市基盤整備といった広範囲にわたり、本町だけでは解決できない課題については、既存の広域のあり方に捉われず、周辺市町及び国・県等と連携して要望活動を含めた整備促進を促します。	50.00点	17.97点	16.80点	84.77点
施策(23)広域協議会などによる連携	・両毛地域の公共施設の相互利用をさらに促進するなど、広域協議会や広域同盟会の事務事業の充実を図ります。	50.00点	17.19点	16.41点	83.60点

/50点 /25点 /25点 /100点

平均

37.86点 17.27点 17.42点 72.55点

平成29年度 第4次邑楽町行政改革大綱施策評価シート

分類	基本目標	基本目標_1_町民と歩む協働のまち			基本方針	基本方針_1_情報共有と町民参画の推進	
	施策の方向性	施策_1_広報・広聴活動の充実			担当課	企画課	
PLAN	取組内容	・広報紙・ホームページをはじめ、おうらお知らせメール、防災行政無線を活用した屋外広報だけでなく、SNS に関する調査・研究・導入を進めるなど、多様な広報手段を活用し、効果的な広報活動を展開します。					
	改革項目名称	新たな広報手段(媒体)の導入					
	期待される効果	広報手段の拡充によりユーザーの拡大が期待できる					
	年度	H28	H29	H30	H31	H32	
	単年度計画内容	・新たな媒体の研究。 ・ケーブルテレビの邑楽町での放送開始に向けた準備。 ・ケーブルテレビとの安全安心に係る協定の締結。	・邑楽町の情報番組の収録、放送開始。 ・防災・防犯の情報の配信。	・配信する情報の見直し。 ・その他イベント等のケーブルテレビへの情報提供の強化。	・配信する情報の見直し。 ・その他イベント等のケーブルテレビへの情報提供の強化。	・配信する情報の見直し。 ・その他イベント等のケーブルテレビへの情報提供の強化。	
	計画段階	研究 改革 改善 改善 改善					
DO	実績及び取組状況	取組状況	今年度具体的にどのような取組を行いましたか。			取組状況指数	
		B 概ね計画どおり取組んでいる	・ケーブルテレビにおいて、町の行政情報発信番組を放送開始。また、町内の各種イベントも積極的に取材を受け、放送されている。 ・防災・防犯の情報発信については、おうらお知らせメールでの情報発信にとどまった。			75	
						係数	
						50	
CHECK	取組課題	今年度計画を取り組むうえでどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。			推進本部評価欄		
		・毎月の収録のため、同じような内容が続いたりしないよう、組み合わせを考慮しなくてはならない。 ・イベントを持っている課に集中しやすい。 ・お知らせメールとJ-ALERTを連携させたい。	課題の捉え方	評価指数			
			A～Eの5段階評価 A100点 3 B75点 10 C50点 3 D25点 0 E0点 0	75			
				25			
ACTION	改善方法	上記課題を来年度以降どのように改善していきますか。			改善方法の示され方		
		・毎年行うイベント等は柱として、その他を新しい構成にする。 ・イベント以外でも、お知らせすべき情報はあるはずなので、各課への聴取を広報委員等を通じて行う。 ・お知らせメールとJ-ALERTの連携のため、システムの入替えのタイミングで供用開始できるよう安全安心課と調整をする。	A～Eの5段階評価 A100点 5 B75点 8 C50点 2 D25点 1 E0点 0	76.56			
				25			
				19.14			
評価	個別点数	37.50 ／50点	18.75 ／25点	19.14 ／25点	＝	総合評価	75.39点 ／100点

平成29年度 第4次邑楽町行政改革大綱施策評価シート

分類	基本目標	基本目標_1_町民と歩む協働のまち			基本方針	基本方針_1_情報共有と町民参画の推進	
	施策の方向性	施策_1_広報・広聴活動の充実			担当課	企画課	
PLAN	取組内容	・地区座談会やみんなの講座、町民アンケートなど、多様な広聴手段を研究し、町民の意見を広く伺う機会を充実させます。					
	改革項目名称	各種計画等に向けた町民アンケートの拡充					
	期待される効果	幅広い意見を聴取することができ、町政への反映も期待できる					
	年度	H28	H29	H30	H31	H32	
	単年度計画内容	前回アンケート内容や集計結果をまとめ、次回アンケート実施時に、より効果的なアンケートになるよう研究する。	近隣自治体のアンケート動向を注視、情報収集し町民意見を反映しやすいアンケート方法・内容を研究する。	研究成果をまとめ、効率・効果的なアンケート用紙を作成する。	・町民アンケートの内容および対象者の拡充を図る。	・第六次総合計画（後期）へ向け、アンケート結果の精査。	
	計画段階	研究		研究	研究	改革	改善
DO	実績及び取組状況	取組状況	今年度具体的にどのような取組を行いましたか。				取組状況指数
		C 一部取り組んでいる	近隣のアンケート調査結果を確認した。 近隣でアンケート調査を公表している自治体が少なかったため、近隣以外へも範囲を広げて調査研究を行った。				50
						係数	
						50 点数 25.00点	
CHECK	取組課題	今年度計画を取り組むうえでどのような課題がありましたか。 また、今後どのような課題が想定されますか。			推進本部評価欄		
		アンケート調査結果の確認に時間を要してしまい、比較や検討までの時間配分が十分できなかった。			課題の捉え方	評価指数	
					A～Eの5段階評価 A100点 2 B75点 6 C50点 7 D25点 1 E0点 0	64.06	
						係数 25 点数 16.02	
ACTION	改善方法	上記課題を来年度以降どのように改善していきますか。			改善方法の示され方		
		H31年度のアンケート調査実施に向けて、十分にできなかった比較検討を行い、アンケート用紙の作成へ取り掛かる。			評価指数		
					A～Eの5段階評価 A100点 2 B75点 7 C50点 6 D25点 1 E0点 0		
					65.63 係数 25 点数 16.41		
評価	個別点数	25.00 ／50点	16.02 ／25点	16.41 ／25点	＝	総合評価	57.43点 ／100点

平成29年度 第4次邑楽町行政改革大綱施策評価シート

分類	基本目標	基本目標_1_町民と歩む協働のまち		基本方針	基本方針_1_情報共有と町民参画の推進		
	施策の方向性	施策_2_町政への参画機会の充実		担当課	企画課		
PLAN	取組内容	・各種計画の策定などに際し、パブリックコメント制度の活用をはじめ、説明会の実施や審議会・委員会を設置するなど、幅広く町民の参画を促す機会の創出を推進します。					
	改革項目名称	パブリックコメント手続き制度の充実					
	期待される効果	各種計画の策定において町民が興味を持って参加する機会を創出できる					
	年度	H28	H29	H30	H31	H32	
	単年度計画内容	パブリックコメント手続き制度の運用開始	寄せられた意見や町の見解などの公表方法の再検討	パブリックコメント手続き要綱の見直し	寄せられた意見や町の見解などの公表方法の再検討	パブリックコメント手続き要綱の見直し	
	計画段階	改革 研究 改善 研究 改善					
DO	実績及び取組状況	取組状況	今年度具体的にどのような取組を行いましたか。				取組状況指数
		B 概ね計画どおり取り組んでいる	前年同様、担当課窓口とホームページで公表を行った。 同時に、ホームページ上のレイアウトの検討を行った。				75
							係数
							50
点数	37.50点						
CHECK	取組課題	今年度計画を取り組むうえでどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。			課題の捉え方	評価指数	
		パブリックコメントを行う必要がある案件が、期間直前に提出されることがあり、時間的余裕が無く、十分な周知期間が取れなかった。			A～Eの5段階評価 A100点 2 B75点 6 C50点 7 D25点 1 E0点 0	64.06	
						係数	
						25	
点数	16.02						
ACTION	改善方法	上記課題を来年度以降どのように改善していきますか。			改善方法の示され方	評価指数	
		要綱に基づき、年間の予定を年度当初に公表できるよう、情報収集を行う。 レイアウトについては、ホームページへの掲載ルールを考慮し、見やすいものを心がける。			A～Eの5段階評価 A100点 3 B75点 7 C50点 6 D25点 0 E0点 0	70.31	
						係数	
						25	
点数	17.58						
評価	個別点数	37.50 ／50点	16.02 ／25点	17.58 ／25点	＝	総合評価	71.10点 ／100点

平成29年度 第4次邑楽町行政改革大綱施策評価シート

分類	基本目標	基本目標_1_町民と歩む協働のまち		基本方針	基本方針_2_協働のまちづくりの推進	
	施策の方向性	施策_3_まちづくりの人材育成		担当課	生涯学習課	
PLAN	取組内容	・まちづくりに関する情報提供や学習機会を提供することで、町民一人ひとりのまちづくりへの意識の向上を図るとともに、まちづくりを支えるNPO・ボランティア団体などの育成と活動支援に努めます。				
	改革項目名称	社会教育事業におけるまちづくりの人材育成の推進				
	期待される効果	町民一人ひとりのまちづくりへの意識の向上及びNPO・ボランティア団体などの育成・活動支援				
	年度	H28	H29	H30	H31	H32
	単年度計画内容	・社会教育施設の学習機会・情報提供内容の検討及び研究 ・NPO・ボランティア団体などの調査	・中央公民館を核とした社会教育施設間の学習機会・情報提供内容の連携・協力の検討 ・NPO・ボランティア団体などの調査・研究	・中央公民館を核とした社会教育施設の教室・講座等を広報誌及びホームページ等で募集する。 ・NPO・ボランティア団体などへの活動支援に向けた研究	・社会教育施設の教室・講座等でアンケート調査を行い、見直しを検討する ・NPO・ボランティア団体の活動に向けた勉強会の実施	・社会教育施設の教室・講座等のさらなる見直しを検討する ・NPO・ボランティア団体の活動支援のさらなる見直しを検討する
	計画段階	研究 研究 改革 改善 改善				
DO	実績及び取組状況	取組状況	今年度具体的にどのような取組を行いましたか。			取組状況指数
		A 計画どおり取り組んでいる	「文化芸術の力でまちづくり」をテーマとして、全国で実績を上げている平田オリザ氏の講演会を開催した。また、邑楽町で文化活動を行っている各界の代表者を交えた座談会も開催し、地域でのまちづくりの担い手育成を目指した。中央公民館開館後のボランティア組織の基礎となる組織(中央公民館開館準備事業実行委員会)に参画し、町民と行政が一緒に取り組む事業を展開した。			100
						係数
						50 点数
CHECK	取組課題	今年度計画を取り組むうえでどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。			推進本部評価欄	
		住民による自主的な活動への支援という観点で取り組んできた。しかし、行政が関わると、どうしても参加者が行政に頼ってしまう傾向がある。	課題の捉え方	評価指数		
			A～Eの5段階評価 A100点 7 B75点 8 C50点 1 D25点 0 E0点 0	84.38		
				係数	25 点数	
ACTION	改善方法	上記課題を来年度以降どのように改善していきますか。			改善方法の示され方	
		全て行政がお膳立てをするのではなく、住民の自発的な意欲を引き出し、自主的な活動が展開できるようにするため、職員がコーディネーター、ファシリテーターとしての力量を高めていく必要がある。	A～Eの5段階評価 A100点 6 B75点 8 C50点 2 D25点 0 E0点 0		81.25	
					係数	
					25 点数	
20.31						
評価	個別点数	50.00 ／50点	21.10 ／25点	20.31 ／25点	≡	総合評価 91.41点 ／100点

平成29年度 第4次邑楽町行政改革大綱施策評価シート

分類	基本目標	基本目標_1_町民と歩む協働のまち		基本方針	基本方針_2_協働のまちづくりの推進		
	施策の方向性	施策_4_協働のまちづくり活動の推進		担当課	企画課		
PLAN	取組内容	・様々な分野における公共的課題の解決や、町民の自主性と提案に基づいたまちづくり活動を推進していくため、NPO・ボランティア団体などに対し、活動に関する情報の相互共有や相談窓口の機能強化を図ります。 また、事業内容に応じた費用を補助する「協働のまちづくり事業補助制度」などの支援の充実を図るとともに、協働事業の目的・内容・実施状況及び結果を公開し、常に事業の改善を図れるよう努めます。					
	改革項目名称	協働のまちづくり事業新要綱策定					
	期待される効果	町民と行政が適切な役割と責任を分担して、連携・協力するまちづくりが実現される。					
	年度	H28	H29	H30	H31	H32	
	単年度計画内容	・活動団体の募集をはかり、官民での協働事業を実施する。	・活動団体の募集をはかり、官民での協働事業を実施する。 ・前年度実績を役場ロビー、ホームページ等で公表する。 ・H29年度で現要綱が失効するため、新要綱の調査・研究。	・新要綱を策定し、新たな協働の考え方のもと、活動団体を募集。 ・前年度実績を役場ロビー、ホームページ等で公表する。	・新制度をより充実させるため、問題点を改善し、活動団体を募集。 ・前年度実績を役場ロビー、ホームページ等で公表する。	・新制度をより充実させるため、問題点を改善し、活動団体を募集。 ・前年度実績を役場ロビー、ホームページ等で公表する。	
	計画段階	改善 研究 改革 改善 改善					
DO	実績及び取組状況	取組状況	今年度具体的にどのような取組を行いましたか。				取組状況指数
		A 計画どおり取り組んでいる	平成29年度は、住民の柔軟な発想と力を活用することにより、4団体事業総額2,011,675円に対して1,288,000円の補助金額を交付し継続的な活動が行うことが出来た。また、前年度の実績をホームページ等で公表し協働のまちづくりの理解と啓発を促した。 新要綱は、従前の町民提案型に行政提案型をプラスしたメニュー展開ができるよう先進自治体の要綱等を調査研究した。				100
							係数
							50 点数 50.00点
CHECK	取組課題	今年度計画を取り組むうえでどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。		課題の捉え方		評価指数	
		活動期間も長期に渡り、また活動補助金上限額も50万円と高額なため、新規の町民団体の申請が無かった。		A～Eの5段階評価 A100点 1 B75点 8 C50点 6 D25点 1 E0点 0		64.06	
						係数	
						25 点数 16.02	
ACTION	改善方法	上記課題を来年度以降どのように改善していきますか。		改善方法の示され方		評価指数	
		協働のまちづくりに対する新要綱を定め、補助金額を低廉な額に設定し活動期間も短くても事業実施が可能にする。また、行政提案型事業を従前の町民主体の事業に加え、多くの町民団体と行政課題の解決を図る。		A～Eの5段階評価 A100点 5 B75点 8 C50点 3 D25点 0 E0点 0		78.13	
						係数	
						25 点数 19.53	
評価	個別点数	50.00 ／50点	16.02 ／25点	19.53 ／25点	≡	総合評価 85.55点 ／100点	

平成29年度 第4次邑楽町行政改革大綱施策評価シート

分類	基本目標	基本目標_1_町民と歩む協働のまち			基本方針	基本方針_3_地域コミュニティ活動の推進	
	施策の方向性	施策_5_行政区活動への支援			担当課	総務課	
PLAN	取組内容	・地域活動を充実させるため、活動機会の紹介や行政及び行政区相互の情報共有を図るとともに、必要に応じた助言・指導や地域リーダーの養成研修を行います。また、自治会組織の運営が円滑に運ぶよう、法人格取得(認可地縁団体)に対する支援を行います。					
	改革項目名称	行政区相互の情報交換の実施					
	期待される効果	他の行政区の状況を知ることによる行政区運営の問題点の改善					
	年度	H28	H29	H30	H31	H32	
	単年度計画内容	・過去に行政区長等から相談を受けた事案等をまとめる。 ・まとめた事案等を基に各行政区に対してアンケートを実施する。	・アンケート結果をまとめ、各区長に配布する。 ・まとめたアンケート結果を基に区長会等で情報交換を行う。	・アンケートの結果及び情報交換を踏まえて他の行政区を参考に改善した点等を調査する。	・アンケートの結果及び情報交換を踏まえて他の行政区を参考に改善した点等を調査する。 ・新たに発生した事案等について他の行政区の状況を聞いてみたい事項を調査する。	・再度アンケートを行い、結果をまとめ、各区長に配布する。	
	計画段階	研究 → 改革 → 改善 → 改善 → 改革					
DO	実績及び取組状況	取組状況	今年度具体的にどのような取組を行いましたか。				取組状況指数
		A 計画どおり取り組んでいる	アンケート結果をまとめ区長会時に報告した。合わせて各課を対象に行った行政区の合併や併合、分割等に伴う変更事務事業量調査についても、報告をいただいた。				100
						係数	
						50 点数 50.00点	
CHECK	取組課題	今年度計画を取り組むうえでどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。			課題の捉え方		評価指数
		行政区からの提案、お願いごとに丁寧に検討・調整をしていかなければならない。			A～Eの5段階評価 A100点 2 B75点 7 C50点 5 D25点 2 E0点 0		64.06
							係数
							25 点数 16.02
ACTION	改善方法	上記課題を来年度以降どのように改善していきますか。			改善方法の示され方		評価指数
		アンケートで寄せられた意見・要望に対して、緊急性・重要性が高いものについて、今後の人口減少社会に耐えうる行政区組織を維持できるよう慎重に検討していく。			A～Eの5段階評価 A100点 2 B75点 9 C50点 5 D25点 0 E0点 0		70.31
							係数
							25 点数 17.58
評価	個別点数	50.00 ／50点	16.02 ／25点	17.58 ／25点	＝	総合評価	83.60点 ／100点

平成29年度 第4次邑楽町行政改革大綱施策評価シート

分類	基本目標	基本目標_1_町民と歩む協働のまち		基本方針	基本方針_3_地域コミュニティ活動の推進		
	施策の方向性	施策_6_地域コミュニティ活動の支援		担当課	総務課(企画)		
PLAN	取組内容	・地域コミュニティ意識の醸成のため、広報紙・ホームページなどを利用した啓発事業を推進するとともに、地域文化活動等の地域づくりに対して助成などの支援に努めます。					
	改革項目名称	邑楽町地域集会施設建設事業補助金の限度額の適正化					
	期待される効果	各行政区が地域集会施設を整備する際に受けることができる補助金額の適正化					
	年度	H28	H29	H30	H31	H32	
	単年度計画内容	・過去の補助金の交付状況を集計する。 ・限度額以上の額の整備を行った行政区の整備内容等を研究する。	・補助金の限度額の適正な額について、協議する。 ・邑楽町地域集会施設建設事業補助金交付要綱の改正案を作成する。	・邑楽町地域集会施設建設事業補助金交付要綱を改正し、補助金限度額の適正化を実施する。	・補助金の申請状況を集計する。	・補助金の申請状況を集計する。 ・申請状況を踏まえ改正後の限度額が適正であるか再度協議する。	
	計画段階	研究 研究 改革 改善 改善					
DO	実績及び取組状況	取組状況	今年度具体的にどのような取組を行いましたか。			取組状況指数	
		C 一部取り組んでいる	補助金の限度額の適正な額の把握のために、区長会で今後の改修工事等必要な行政区の把握に努めた。			50	
						係数	
						50 点数 25.00点	
CHECK	取組課題	今年度計画を取り組むうえでどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。			推進本部評価欄		
		地域集会施設建設事業補助金交付要綱の改正については、限度額についての適正化がまだ検討段階であるため、改正案を示すことができていない。	課題の捉え方	評価指数			
			A～Eの5段階評価 A100点 3 B75点 7 C50点 5 D25点 1 E0点 0	68.75			
				係数	25 点数 17.19		
ACTION	改善方法	上記課題を来年度以降どのように改善していきますか。			改善方法の示され方		
		各行政区施設の現状把握を引き続き行い、1行政区で複数施設を抱えている自治会についても、適正な限度額を調査・研究していく。	A～Eの5段階評価 A100点 2 B75点 10 C50点 4 D25点 0 E0点 0		71.88		
					係数		
					25 点数 17.97		
評価	個別点数	25.00 ／50点	17.19 ／25点	17.97 ／25点	＝	総合評価	60.16点 ／100点

平成29年度 第4次邑楽町行政改革大綱施策評価シート

分類	基本目標	基本目標_1_町民と歩む協働のまち			基本方針	基本方針_3_地域コミュニティ活動の推進	
	施策の方向性	施策_7_地域集会施設の整備推進			担当課	企画課(総務)	
PLAN	取組内容	・行政区の活動拠点となる地域集会施設の整備や、地域コミュニティ活動に必要な備品整備の支援を図ります。					
	改革項目名称	地区集会所施設・備品充実事業					
	期待される効果	地域コミュニティ活動に必要な備品等の整備を行うことでより住民活動の一助とする。					
	年度	H28	H29	H30	H31	H32	
	単年度計画内容	地域コミュニティ活動に活用する備品等の整備を必要としている行政区を抽出後、該当工事(備品)及び金額の精査後、予算内で効率的な整備実施。	備品等の整備を必要としている行政区を抽出後、該当工事(備品)及び金額の精査後、予算内で効率的な整備実施。	備品等の整備を必要としている行政区を抽出後、該当工事(備品)及び金額の精査後、予算内で効率的な整備実施。	備品等の整備を必要としている行政区を抽出後、該当工事(備品)及び金額の精査後、予算内で効率的な整備実施。	備品等の整備を必要としている行政区を抽出後、該当工事(備品)及び金額の精査後、予算内で効率的な整備実施。	
	計画段階	改革 改善 改善 改善 改善					
DO	実績及び取組状況	取組状況	今年度具体的にどのような取組を行いましたか。			取組状況指数	
		A 計画どおり取り組んでいる	魅力あるコミュニティ助成事業及び一般コミュニティ助成事業の2つの補助金を活用し、2つの行政区に対して、総事業費3,842,880円に対して3,815,000円の備品整備の補助を行った。			100	
						係数	
						50	
点数	50.00点						
CHECK	取組課題	今年度計画を取り組むうえでどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。			推進本部評価欄		
		2つの助成事業を活用することにより行政区等の負担が非常に少なく備品整備が行うことができる。そのため、補助を必要としている行政区等からの要望が多数に及んでいるため、全ての行政区の要望には応えられていない。	課題の捉え方	評価指数			
			A～Eの5段階評価 A100点 5 B75点 8 C50点 3 D25点 0 E0点 0	78.13			
				係数	25		
点数	19.53						
ACTION	改善方法	上記課題を来年度以降どのように改善していきますか。			改善方法の示され方		
		過去の助成事業の活用状況を整理し、未活用行政区を最優先にするとともに活用数の少ない行政区を優先し、公正公平性を図っていく。今後、未利用行政区が無くなる、または少数になった年度で、助成事業の活用方法を再度研究する。(行政区単位ではなく、複数行政区単位で備品整備等を行っていくなど。)	A～Eの5段階評価 A100点 5 B75点 8 C50点 3 D25点 0 E0点 0	78.13			
				係数	25		
				点数	19.53		
評価	個別点数	50.00 ／50点	19.53 ／25点	19.53 ／25点	≡	総合評価	89.06点 ／100点

平成29年度 第4次邑楽町行政改革大綱施策評価シート

分類	基本目標	基本目標_1_町民と歩む協働のまち		基本方針	基本方針_3_地域コミュニティ活動の推進	
	施策の方向性	施策_8_町民コミュニティ活動の推進		担当課	商工振興課	
PLAN	取組内容	・おうら中央公園周辺において、おうら中央多目的広場や建設予定の中央公民館などを利用し、町民の一体感を醸成するための様々な祭りやイベントを企画するとともに、町民が自発的かつ主体的にコミュニティ活動に取り組みやすい環境を創出します。				
	改革項目名称	中央公園一帯丸ごとお祭り広場推進計画				
	期待される効果	まちづくりの主体者を育成するとともに、町民のコミュニティ活動の推進につながる。さらに、町内外から多くの人たちを呼び込むことができる。				
	年度	H28	H29	H30	H31	H32
	単年度計画内容	・おうら祭りを中央多目的広場で開催する。・産業祭を昨年に引き続き中央多目的広場で開催する。・光のページェントHiKARiMiRAiを中央多目的広場及びシンボルタワーで開催する。・中央多目的広場の民間団体等の活用について研究・PRしていく。	・中央公民館完成後を想定し、中央公園や中央多目的広場と一体となった活用方法を研究する。・おうら祭り、産業祭、光のページェントHiKARiMiRAiを中央多目的広場を中心に開催していくとともに、町民の力を取り入れたイベント作りについて研究試行していく。・町民を中心とした民間団体等の活用について研究・PRしていく。	・完成した中央公民館をイベントで活用する。・従来から実施しているおうら祭り、産業祭、光のページェントHiKARiMiRAiに町民の力をより多く取り込んでいくものとする。・民間団体や町民の方々の自主企画イベントを実施する。	・おうら祭りを、中央多目的広場、中央公園、中央公民館をフルに活用して実施する。・産業祭や光のページェントHiKARiMiRAiを町民とともに作り上げていく。・民間団体や町民の方々の自主企画のイベントを実施し、住民の主体的な活動を推進していく。	・31年度の改革点を評価検証し、よい点や改善点などの洗い出しを行う。・評価検証結果に基づいて、おうら祭りや産業祭、光のページェントHiKARiMiRAiなどを実施していくとともに、町民の自発的かつ主体的な取り組みを重点目標として取り込んでいく。
	計画段階	研究 研究 改善 改革 改善				
DO	実績及び取組状況	取組状況	今年度具体的にどのような取組を行いましたか。			取組状況指数
		B 概ね計画どおり取組んでいる	・シンボルタワーで行っているナイトコンサートや子ども機織り教室等はタワーの誘客につながり、おうら中央公園の賑わい創出に寄与した。 ・おうら祭り、産業祭、光のページェントHiKARiMiRAiを中央多目的広場及びシンボルタワーで開催した。町民ボランティアも一部活用でき今後の協同の観光資源づくりに発展できる余地を残せた。			75
						係数
						50
				点数		
					37.50点	
CHECK	取組課題	今年度計画を取り組むうえでどのような課題がありましたか。 また、今後どのような課題が想定されますか。 中央公民館のオープン、あいあいセンター、シンボルタワー、図書館とおうら中央公園には施設が集中していることもあり、これらの施設を活用した誘客促進の可能性が大きくなった。相乗効果による交流人口の増加を図る施策を今後は研究する必要がある。			推進本部評価欄	
					課題の捉え方	評価指数
					A～Eの5段階評価 A100点 6 B75点 8 C50点 2 D25点 0 E0点 0	81.25
						係数
				25		
				点数		
				20.31		
ACTION	改善方法	上記課題を来年度以降どのように改善していきますか。 まずは、既存の大きなイベントおうら祭りや産業祭、光りのページェントHiKARiMiRAiなど、期間集中的なイベントに焦点を併せた連携を進める。次に町民協同のコミュニティ作りの場としての連携を深める施策が必要である。			改善方法の示され方	
					A～Eの5段階評価 A100点 3 B75点 7 C50点 6 D25点 0 E0点 0	70.31
						係数
						25
				点数		
				17.58		
評価	個別点数	37.50 ／50点	20.31 ／25点	17.58 ／25点	≡	総合評価 75.39点 ／100点

平成29年度 第4次邑楽町行政改革大綱施策評価シート

分類	基本目標	基本目標_2_信頼に応える行財政運営のまち			基本方針	基本方針_4_情報通信技術 ICT の推進		
	施策の方向性	施策_9_行政サービスの近代化・効率化			担当課	企画課		
PLAN	取組内容	・電子申請システムなどのインターネットを活用した行政手続きの簡素化については、利用者の利便性だけでなく事務の効率性やコスト面も含めて調査・検討していきます。また、マイナンバー制度の円滑な利用について調査・研究し、町民サービスの向上を図ります。						
	改革項目名称	子育てワンストップサービスの運用開始(マイナンバーカード利用)						
	期待される効果	子育て世代における役場への各種申請、手続きの省力化が図れる。						
	年度	H28	H29	H30	H31	H32		
	単年度計画内容	・サービス運用開始のための説明会への参加。 ・サービス提供担当課との情報共有。	・サービスの運用テスト。 ・サービスの本格運用開始。 ・サービスの運用開始のPR。	・近隣市町のサービス提供状況と利用状況の確認。	・提供サービスの精査。 ・提供サービスの拡充	・提供サービスの精査。 ・提供サービスの拡充。 ・その他マイナンバーカードの利用に関する研究。		
	計画段階	研究 → 改革 → 研究 → 改善 → 研究 →						
DO	実績及び取組状況	取組状況	今年度具体的にどのような取組を行いましたか。				取組状況指数	
		A 計画どおり取り組んでいる	・時期が年度末になってしまったが、運用を開始した。 ・運用開始にともない、広報紙にて周知を図った。				75	
							係数	
							50	
CHECK	取組課題	取組課題	今年度計画を取り組むうえでどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。				課題の捉え方	評価指数
		どのメニューを取り扱うのか、担当課との調整に時間を要した。運用開始後の取り扱い件数の把握とあわせて利用促進が課題となる。	A～Eの5段階評価 A100点 5 B75点 7 C50点 3 D25点 1 E0点 0				75	
							係数	
							25	
ACTION	改善方法	改善方法	上記課題を来年度以降どのように改善していきますか。				改善方法の示され方	評価指数
		近隣市町の運用を調査研究し、サービス提供の内容を再確認する。あわせて、サービス自体の周知方法も再検討し周知に努める。	A～Eの5段階評価 A100点 4 B75点 4 C50点 7 D25点 1 E0点 0				67.19	
							係数	
							25	
評価	個別点数	37.50	18.75	16.80	≡	総合評価	73.05点	
		／50点	／25点	／25点			／100点	

平成29年度 第4次邑楽町行政改革大綱施策評価シート

分類	基本目標	基本目標_2_信頼に応える行財政運営のまち			基本方針	基本方針_4_情報通信技術・ICTの推進	
	施策の方向性	施策_10_行政事務の近代化・効率化			担当課	企画課	
PLAN	取組内容	・行政事務の効率化を図るため、国や県、近隣市町などと歩調を合わせながら、文書管理や決裁、地理情報などの業務の電子化を推進するとともに、セキュリティ水準の向上や災害に強い基盤を構築させるため、基幹系(住民情報・税情報等)システムに続き、情報系(グループウェア・財務会計等)システムのクラウド化を推進します。					
	改革項目名称	基幹系システムおよび情報系システムの共同利用化					
	期待される効果	近隣自治体との共同利用することによるシステム利用にかかるコストの削減が図れる					
	年度	H28	H29	H30	H31	H32	
	単年度計画内容	・邑楽郡情報研究会における共同利用に向けた調査・研究。 ・自治体クラウドの共同利用に関する協定書の締結。 ・自治体クラウド設置推進委員会の設置。	・基幹系システムは大泉町、千代田町、明和町が先行して運用開始。 ・情報系システムの共同利用に向けた情報収集、調査、研究。	・情報系システムの契約期限満了に伴うリプレース。 ・郡内の情報系システムの動向調査。	・邑楽町における基幹系システムの共同利用の運用開始。	・基幹系システムの共同利用に伴う不具合や改善要望の集約。 ・自治体クラウド推進委員会での協議を通じ、システム供給業者への改善要求。	
	計画段階	研究 研究 研究 改革 改善					
DO	実績及び取組状況	取組状況	今年度具体的にどのような取組を行いましたか。				取組状況指数
		B 概ね計画どおり取組んでいる	・基幹系システムの共同利用開始に向け、構成団体で会議や研究会を開催し、共同利用について見識を高めた。 ・先に供用開始した構成団体から運用状況などを含めて聞き取り調査などを行った。 ・情報系システムについては、研究会の中で議題にあげることができた。				75
							係数
							50 点数 37.50点
CHECK	取組課題	今年度計画を取り組むうえでどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。			推進本部評価欄		
		・情報系システムも共同利用が可能なものについて情報収集を試みたが、思うように調査に取り組みなかった。			課題の捉え方	評価指数	
					A～Eの5段階評価 A100点 0 B75点 8 C50点 6 D25点 2 E0点 0	59.38	
						25 点数 14.85	
ACTION	改善方法	上記課題を来年度以降どのように改善していきますか。			改善方法の示され方		
		・基幹系システムの共同利用開始前の最終年のため、非常時の使用方法や構成団体との連携の方法を入念に確認する。			A～Eの5段階評価 A100点 0 B75点 10 C50点 5 D25点 1 E0点 0	64.06	
						25 点数 16.02	
						16.02	
評価	個別点数	37.50 ／50点	14.85 ／25点	16.02 ／25点	＝	総合評価	68.37点 ／100点

平成29年度 第4次邑楽町行政改革大綱施策評価シート

分類	基本目標	基本目標_2_信頼に応える行財政運営のまち			基本方針	基本方針_4_情報通信技術 ICT の推進		
	施策の方向性	施策_11_情報セキュリティ体制の強化			担当課	企画課		
PLAN	取組内容	・本町の情報資産について適切に保護・管理するため、「邑楽町情報セキュリティポリシー」に基づき、物理的対策や人的対策及び技術的対策を推進します。また、日々新たに出現する脅威に対しては、「邑楽町情報セキュリティポリシー」の見直しも視野に入れ、より一層の強化に取り組めます。						
	改革項目名称	群馬県セキュリティクラウドへの接続						
	期待される効果	群馬県による外部接続の一元管理にともない、より一層のセキュリティ強化が図れる						
	年度	H28	H29	H30	H31	H32		
	単年度計画内容	・情報暗号化システムの導入。 ・セキュリティ強靱化の導入。 ・県セキュリティクラウドへの接続準備。	・県セキュリティクラウドへの接続、運用開始。	・共用開始後のシステムの不具合、ユーザーの意見等の集約。 ・システム構築業者への改善要望。 ・群馬県への改善要望。	・運用中の不具合、ユーザーの意見等の集約。 ・システム構築業者への改善要望。 ・群馬県への改善要望。	・運用中の不具合、ユーザーの意見等の集約。 ・システム構築業者への改善要望。 ・群馬県への改善要望。		
	計画段階	研究 改革 改善 改善 改善						
DO	実績及び取組状況	取組状況	今年度具体的にどのような取組を行いましたか。				取組状況指数	
		A 計画どおり取り組んでいる	4月より県セキュリティクラウドへ接続し、県内一元のインターネットセキュリティ環境へ移行した。				75	
							係数	
							50	
点数								
37.50点								
CHECK	取組課題	今年度計画を取り組むうえでどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。				推進本部評価欄		
		県セキュリティクラウドへの接続にともない、webの閲覧やメールの添付ファイル等に今まで以上の制限が設けられている。これらを周知徹底するため、職員への丁寧な説明随時の相談が必要となる。				課題の捉え方	評価指数	
						A～Eの5段階評価 A100点 5 B75点 9 C50点 2 D25点 0 E0点 0	79.69	
							係数	
25								
点数								
19.92								
ACTION	改善方法	上記課題を来年度以降どのように改善していきますか。				改善方法の示され方		
		職員からの十分なヒアリングのうえ、業務上必要なものについて県へ要請する。また、メールの添付ファイルについては受信可能な物の周知を適宜行う。				A～Eの5段階評価 A100点 5 B75点 8 C50点 3 D25点 0 E0点 0	78.13	
							係数	
							25	
点数								
19.53								
評価	個別点数	37.50 ／50点	19.92 ／25点	19.53 ／25点	＝	総合評価	76.95点 ／100点	

平成29年度 第4次邑楽町行政改革大綱施策評価シート

分類	基本目標	基本目標_2_信頼に応える行財政運営のまち			基本方針	基本方針_4_情報通信技術_ICT_の推進	
	施策の方向性	施策_12_情報教育の推進			担当課	学校教育課(生涯)	
PLAN	取組内容	・学校での情報教育の推進はもとより、公民館をはじめ様々な機会を捉えたパソコン教室の開催など、情報教育の推進を図ります。					
	改革項目名称	ICT教育環境の整備推進					
	期待される効果	ICT教育環境の充実を図ることにより、児童・生徒の授業における理解を深め、学力向上につなげる。また、町民の情報スキルの向上により、生活の質の向上や福祉の増進に寄与する。					
	年度	H28	H29	H30	H31	H32	
	単年度計画内容	・整備スケジュールの決定	・先進地の視察等による調査・研究	・学校における機器等メニューの洗い出し ・学校における機器等仕様の決定 ・社会教育施設における学習拠点の移設及び機器の入れ替え	・学校における機器の入れ替え ・学校におけるICT機器の活用による授業の実施 ・ICT機器のより有効的な活用の研究	・ICT機器のより有効的な活用の研究	
	計画段階	研究		研究	改革	改革	改善
DO	実績及び取組状況	取組状況	今年度具体的にどのような取組を行いましたか。				取組状況指数
		C 一部取り組んでいる	教育のICT環境整備に関する研修会やセミナーに参加し、情報収集に努めた。				75
						係数	
						50 点数 37.50点	
CHECK	取組課題	今年度計画を取り組むうえでどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。 現場が求めるICT環境と財政的に整備可能なICT環境の乖離			課題の捉え方	評価指数	
					A～Eの5段階評価 A100点 3 B75点 5 C50点 7 D25点 1 E0点 0	65.63	
						係数	
					25 点数 16.41		
ACTION	改善方法	上記課題を来年度以降どのように改善していきますか。 学校現場の状況や教職員の要望を把握しながら、整備可能なICT環境の選定に努めていく。			改善方法の示され方	評価指数	
					A～Eの5段階評価 A100点 3 B75点 6 C50点 7 D25点 0 E0点 0	68.75	
						係数	
					25 点数 17.19		
評価	個別点数	37.50 ／50点	16.41 ／25点	17.19 ／25点	＝	総合評価	71.10点 ／100点

平成29年度 第4次邑楽町行政改革大綱施策評価シート

分類	基本目標	基本目標_2_信頼に応える行財政運営のまち			基本方針	基本方針_5_効率・効果的な行政運営の推進		
	施策の方向性	施策_13_効率・効果的な行政運営の確立			担当課	住民課(全課)		
PLAN	取組内容	・BPRの手法やICTの活用など、新たな業務改善方法を研究していくことで、町民サービスに直結する窓口業務の見直しや効率化を図り、時代に対応した行政サービスに取り組んでいきます。						
	改革項目名称	新たな業務改善方法の研究						
	期待される効果	多様化・複雑化する住民ニーズに対し、より利便性の高いサービスを効果的・効率的に提供する。						
	年度	H28	H29	H30	H31	H32		
	単年度計画内容	窓口における待ち時間の削減、手続きの簡素化及びわかりやすい窓口体制の実現について研究を行う。	前年の研究結果による窓口体系に準拠した事務の流れを整理し、無駄で無理のない体制の研究を行う。	前年の研究結果を基に、現況の総合窓口方式と職員出張方式の複合から、双方の割合の見直しを含め、より利便性の高い窓口業務方式を実施する。	住基システムの改善や福祉関係システム・保健システム等との情報連携による効率化の推進、また、マイナンバー制度については国の動向を注視し活用を検討する。	業務内容を再精査し、定型的業務などで外部委託の検討を進め、業務の効率化に最適な人員配置の研究を進める。		
	計画段階	研究 研究 改革 改善 改善						
DO	実績及び取組状況	取組状況	今年度具体的にどのような取組を行いましたか。				取組状況指数	
		B 概ね計画どおり取組んでいる	住民が来庁してからの滞在時間を短縮するために、可能な限り1ヶ所まで受付することを前提に、関係課との連携を強化し、案内漏れをなくすことを意識して業務を遂行した。				75	
							係数	
							50	
点数	37.50点							
CHECK	取組課題	今年度計画を取り組むうえでどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。				推進本部評価欄		
		他課の業務内容を理解・把握し、また、連携を取りながら案内漏れのないよう取り組んでいく。				課題の捉え方	評価指数	
						A～Eの5段階評価 A100点 0 B75点 9 C50点 7 D25点 0 E0点 0	64.06	
							係数	25
点数	16.02							
ACTION	改善方法	上記課題を来年度以降どのように改善していきますか。				改善方法の示され方	評価指数	
		迷わず、スムーズな案内や、関連する手続きをできる限り1ヶ所まで受付し、限られた職員の中で効率的に手続きが行えるような処理方法を検討する。				A～Eの5段階評価 A100点 0 B75点 11 C50点 5 D25点 0 E0点 0	67.19	
							係数	25
							点数	16.80
評価	個別点数	37.50 ／50点	16.02 ／25点	16.80 ／25点	＝	総合評価	70.32点 ／100点	

平成29年度 第4次邑楽町行政改革大綱施策評価シート

分類	基本目標	基本目標_2_信頼に応える行財政運営のまち			基本方針	基本方針_5_効率・効果的な行政運営の推進		
	施策の方向性	施策_13_効率・効果的な行政運営の確立			担当課	生涯学習課		
PLAN	取組内容	・社会教育事業を効率よく推進するため、社会教育施設間の連携強化はもとより、事業の統合や事務の効率化を図ります。						
	改革項目名称	社会教育事業における効率化の推進						
	期待される効果	社会教育施設間の連携強化及び事業・事務の効率的な運営						
	年度	H28	H29	H30	H31	H32		
	単年度計画内容	・社会教育施設間における連携強化策の検討 ・事業・事務の効率化の検討	・年間予定表への迅速な事業入力 ・次年度事業計画案の早期作成検討 ・中央公民館を核とした事業・事務の効率的な運営の検討	・次年度事業計画案の早期策定による事業・事務の効率化の実施	・社会教育施設間の連携強化及び事業・事務の効率化のさらなる見直し・改善	・社会教育施設間の連携強化及び事業・事務の効率化のさらなる見直し・改善		
	計画段階	研究 研究 改革 改善 改善						
DO	実績及び取組状況	取組状況	今年度具体的にどのような取組を行いましたか。				取組状況指数	
		B 概ね計画どおり取り組んでいる	中央公民館を核とした各館の連携・役割分担等について検討するため、職員のワーキンググループを組織して27回に渡り協議を行った。また、館長・係長会議やJOY会議(担当者レベルの事業等広報についての調整会議)を月1回開催し、その中の議題として施設間の連携強化と事務の効率化、事業の日程調整についても検討を行ってきた。				75	
						係数		
						50 点数 37.50点		
CHECK	取組課題	今年度計画を取り組むうえでどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。			課題の捉え方		評価指数	
		中央公民館開館が目前に迫る中、限られた時間の中で、開館後の社会教育施設全体のあり方を検討するのは非常にハードだった。特に、ホールを備えた施設運営は初めて経験することであり、全体の事務量や職務内容も手探り状態のため、全体のビジョンを描くのは困難を伴っている。			A～Eの5段階評価 A100点 5 B75点 7 C50点 4 D25点 0 E0点 0		76.56	
							係数	
							25 点数 19.14	
ACTION	改善方法	上記課題を来年度以降どのように改善していきますか。			改善方法の示され方		評価指数	
		中央公民館の果たすべき役割を明確化し、人と予算を一定部分集中させていくと同時に、各施設が①地域の学習拠点としてどの施設も普遍的に取り組むべきこと、②各施設の特徴を生かし、より特化した事業展開を行うことにより、相互に補い合う関係を構築すること、の両面に配慮しながらあるべき姿を追求していく。			A～Eの5段階評価 A100点 6 B75点 5 C50点 5 D25点 0 E0点 0		76.56	
							係数	
							25 点数 19.14	
評価	個別点数	37.50 ／50点	19.14 ／25点	19.14 ／25点	＝	総合評価	75.78点 ／100点	

平成29年度 第4次邑楽町行政改革大綱施策評価シート

分類	基本目標	基本目標_2_信頼に応える行財政運営のまち			基本方針	基本方針_5_効率・効果的な行政運営の推進	
	施策の方向性	施策_14_機能的な組織の構築と職員の資質向上			担当課	総務課(企画)	
PLAN	取組内容	・時代の変化に適応した組織機構とするため、機構改革や人員配置について検証を進めるとともに、窓口・電話対応の接遇研修など計画的な職員研修の充実による政策能力等の育成と人事・定員管理を推進します。					
	改革項目名称	効果的な職員研修等による人材育成と適正な人員管理の推進					
	期待される効果	研修等により職員のスキルアップを図り、住民対応の向上や適正な人員管理が期待される					
	年度	H28	H29	H30	H31	H32	
	単年度計画内容	職員研修計画を基に、職員へ情報提供をするとともに、より効果的な職員研修を研究していく。	町主催の研修を積極的に企画し、職員の意識向上を図るとともに、職員アンケート等を実施し職員ニーズを把握する。	職員ニーズも考慮しながら効果的な職員研修を実施していく。	前年度までの実績を考慮しながら、より効果的な職員研修計画を作成するとともに、職員の適性を見極め、適正な人員配置に努める。	職員研修計画の改善を図りながら、より効果的な研修等を実施しながら人材育成を推進していく。	
	計画段階	研究 研究 改善 改革 改善					
DO	実績及び取組状況	取組状況	今年度具体的にどのような取組を行いましたか。			取組状況指数	
		C 一部取り組んでいる	県や町村会が主催する研修会へ職員を派遣したり、町独自で職員研修会を実施して職員の資質向上を図った。また、各所属長から職場の問題点等を聞き取り、機能的な組織構築に努めた。			75	
						係数	
						50 点数 37.50点	
CHECK	取組課題	今年度計画を取り組むうえでどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。			課題の捉え方		評価指数
		日常業務に追われ、研修に参加できない職員が見受けられた。今後は、業務量の増加や複雑化に伴い、人員不足も予想される。			A～Eの5段階評価 A100点 2 B75点 8 C50点 6 D25点 0 E0点 0		68.75
							係数
							25 点数 17.19
ACTION	改善方法	上記課題を来年度以降どのように改善していきますか。			改善方法の示され方		評価指数
		町独自の研修会の回数を増やしたり、職員のニーズに合った研修会を開催していきたい。また、適切な定員管理を行いながら人員配置を行っていきたい。			A～Eの5段階評価 A100点 2 B75点 10 C50点 4 D25点 0 E0点 0		71.88
							係数
							25 点数 17.97
評価	個別点数	37.50 ／50点	17.19 ／25点	17.97 ／25点	＝	総合評価	72.66点 ／100点

平成29年度 第4次邑楽町行政改革大綱施策評価シート

分類	基本目標	基本目標_2_信頼に応える行財政運営のまち			基本方針	基本方針_5_効率・効果的な行政運営の推進		
	施策の方向性	施策_14_機能的な組織の構築と職員の資質向上			担当課	総務課		
PLAN	取組内容	・人事評価制度を活用して、職員の仕事に対する意欲、向上心、達成感を引き出し、意識改革を図ります。職員一人ひとりの意欲を向上させることにより、組織全体を活性化させます。						
	改革項目名称	人事評価制度を活用した人材育成と組織の活性化						
	期待される効果	職員一人ひとりが明確な目標を持って仕事に取り組むことによって仕事の効率化が期待できる。また、面談等を実施することによって組織の意思疎通が図れる。						
	年度	H28	H29	H30	H31	H32		
	単年度計画内容	人事評価制度の本格実施と職員アンケートの実施	人事評価制度の検証と職員アンケートの実施	より効果的な人事評価制度への見直し	人事評価制度の検証と職員アンケートの実施	人事評価制度の検証と職員アンケートの実施		
	計画段階	研究		研究	改革	改善	改善	
DO	実績及び取組状況	取組状況	今年度具体的にどのような取組を行いましたか。				取組状況指数	
		C 一部取り組んでいる	人事評価制度研修会を実施し、職員の制度に対する理解を深めた。				75	
							係数	
							50	
点数								
37.50点								
CHECK	取組課題	今年度計画に取り組むうえでどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。				課題の捉え方	評価指数	
		評価者の均一的な評価結果を得る事が難しく、職員のモチベーションにも影響している。				A～Eの5段階評価 A100点 1 B75点 9 C50点 6 D25点 0 E0点 0	67.19	
							係数	
							25	
点数								
16.80								
ACTION	改善方法	上記課題を来年度以降どのように改善していきますか。				改善方法の示され方	評価指数	
		定期的に研修やアンケートを実施し、職員に対して制度の浸透を図るとともに、問題点を検証し、職員のモチベーション向上に努めたい。				A～Eの5段階評価 A100点 1 B75点 8 C50点 7 D25点 0 E0点 0	65.63	
							係数	
							25	
点数								
16.41								
評価	個別点数	37.50 ／50点	16.80 ／25点	16.41 ／25点	＝	総合評価	70.71点 ／100点	

平成29年度 第4次邑楽町行政改革大綱施策評価シート

分類	基本目標	基本目標_2_信頼に応える行財政運営のまち			基本方針	基本方針_5_効率・効果的な行政運営の推進	
	施策の方向性	施策_15_計画的な事業の執行と行政評価の推進			担当課	企画課	
PLAN	取組内容	・総合計画等の長期計画に基づき、選択と集中による計画的な事業を推進するとともに、基本計画と予算編成の連動を図ります。また、行政評価システム の導入による検証と行政評価を推進します。					
	改革項目名称	行政評価の推進					
	期待される効果	従前の予算決算等のサービス量の効果検証から、事業の達成目標・アウトカム(成果)など、客観的・定性的な指標設定による効果検証に切り替えることにより、事務事業の見直し・改善と住民への説明責任を果たす。					
	年度	H28	H29	H30	H31	H32	
	単年度計画内容	・ 行政評価先進自治体の調査研究 ・ 国の補助事業である地方創生先行型事業に対して外部検証を実施する。	・ 行政評価先進自治体の調査研究	・ 先進自治体の調査研究 ・ 基本理念等・内規及び評価様式を作成する。 ・ 職員に内容を周知する。	・ 行政評価を住民に周知し行政評価を本格実施する。	・ 行政評価をより効果的な実施が行えるよう改善実施する。	
	計画段階	研究		研究	研究	改革	改善
DO	実績及び取組状況	取組状況	今年度具体的にどのような取組を行いましたか。				取組状況指数
		B 概ね計画どおり取組んでいる	行政評価先進自治体及び同規模自治体の行政評価事業に対し調査研究を行った。また、総合計画・総合戦略・行政改革の進捗状況及び事業成果を精査した。事業成果について課長会において内部評価を行い事業のブラッシュアップを図った。				75
						係数	
						50 点数 37.50点	
CHECK	取組課題	今年度計画を取り組むうえでどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。			課題の捉え方		評価指数
		当町では、職員のPDCAサイクル及び評価に対する認識及び必要性に対する意識の欠如がまだまだ見られる。また、成果についてもアウトプットの考え方からアウトカムの考え方への移行がまだまだなされていない。			A～Eの5段階評価 A100点 6 B75点 7 C50点 3 D25点 0 E0点 0		79.69
					係数		
					25 点数 19.92		
ACTION	改善方法	上記課題を来年度以降どのように改善していきますか。			改善方法の示され方		評価指数
		総合計画・総合戦略・行政改革は全課において、PDCAサイクル及び内部評価を実施し、従来の予算執行額の多寡で事業評価を行っていたものを、KPIなどの目標達成度で事業評価を行っていく事を周知徹底する。また、評価についてもアウトカムの考え方で評価していく。			A～Eの5段階評価 A100点 4 B75点 9 C50点 3 D25点 0 E0点 0		76.56
					係数		
					25 点数 19.14		
評価	個別点数	37.50 ／50点	19.92 ／25点	19.14 ／25点	＝	総合評価	76.56点 ／100点

平成29年度 第4次邑楽町行政改革大綱施策評価シート

分類	基本目標	基本目標_2_信頼に応える行財政運営のまち			基本方針	基本方針_5_効率・効果的な行政運営の推進	
	施策の方向性	施策_16_公共施設の適正な管理			担当課	総務課	
P L A N	取組内容	・人口減少等により公共施設等の利用需要が変化していくことが予想されることを踏まえ、「公共施設等総合管理計画」を策定し、長期的な視点をもって、更新・統廃合・長寿命化などを行うことにより、財政負担を軽減・平準化するとともに、公共施設等の最適な配置を実現します。					
	改革項目名称	公共施設等総合管理計画の策定、個別施設計画の策定					
	期待される効果	公共施設の最適な配置計画が検討できる。施設更新にかかる財政負担を平準化できる。					
	年度	H28	H29	H30	H31	H32	
	単年度計画内容	公共事施設等総合管理計画の策定	・公共施設総合管理計画の実行(予防的維持管理の実施) ・予防的維持管理をするために必要な情報を収集して、個別管理計画策定するための準備	・公共施設総合管理計画の実行(予防的維持管理の実施) ・予防的維持管理をするために必要な情報を収集して、個別管理計画策定するための準備	・公共施設総合管理計画の実行(予防的維持管理の実施) ・予防的維持管理をするために必要な情報を収集して、個別管理計画を策定する	・公共施設総合管理計画の実行(予防的維持管理の実施) ・予防的維持管理をするために必要な情報を収集して、個別管理計画を策定する	
	計画段階	改革 研究 研究 改善 改革					
D O	実績及び取組状況	取組状況	今年度具体的にどのような取組を行いましたか。				取組状況指数
		A 計画どおり取り組んでいる	個別施設計画の策定に向けて、庁舎内での準備を行った。				75
							係数
							50
点数	37.50点						
C H E C K	取組課題	今年度計画を取り組むうえでどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。			推進本部評価欄		
		各施設で個別計画を作成する場合には、将来的な財源の確保及び平準化は行えない。計画を作成することは、財源の確保を確実なものとしていく必要がある	課題の捉え方	評価指数			
			A～Eの5段階評価 A100点 4 B75点 9 C50点 3 D25点 0 E0点 0	76.56			
			係数	25			
点数	19.14						
A C T I O N	改善方法	上記課題を来年度以降どのように改善していきますか。			改善方法の示され方		
		各施設において、個別施設計画を作成するのではなく、町全体の財政運営を考え、町施設全体での個別施設計画を作成。中期的な維持修繕費を確保し、財政負担を平準化することが必要である。	A～Eの5段階評価 A100点 6 B75点 7 C50点 3 D25点 0 E0点 0		79.69		
					係数	25	
					点数	19.92	
評価	個別点数	37.50 ／50点	19.14 ／25点	19.92 ／25点	＝	総合評価	76.56点 ／100点

平成29年度 第4次邑楽町行政改革大綱施策評価シート

分類	基本目標	基本目標_2_信頼に応える行財政運営のまち			基本方針	基本方針_5_効率・効果的な行政運営の推進	
	施策の方向性	施策_17_民間活力の活用			担当課	企画課(全課)	
PLAN	取組内容	・行政事務や施設管理のあり方について検証を行い、効率・利便性を考慮したうえで、定型業務の民間委託や公の施設の指定管理者制度などの活用を研究していきます。また、PPP/PFIなどの手法を研究し、民間活力の活用を推進していきます。					
	改革項目名称	民間活力の活用					
	期待される効果	民間活力を研究・導入することにより効率効果的な行政運営が可能になる					
	年度	H28	H29	H30	H31	H32	
	単年度計画内容	先進自治体の調査研究	先進自治体の調査研究	民間委託することで、より効率的に実施できる業務の洗い出し	民間委託することで、より効率的に実施できる業務の洗い出し	民間委託可能業務の具体的な検討を行い、委託業者を選定し実施する。	
	計画段階	研究		研究	研究	研究	改革
DO	実績及び取組状況	取組状況	今年度具体的にどのような取組を行いましたか。				取組状況指数
		B 概ね計画どおり取り組んでいる	PPP/PFIに対するプライベートセミナーを関係部署と民間会社を交えて開催し調査研究を行った。また、昨年に引き続き広告入り公用封筒の作成及び無償提供に関する協定書を(株)郵宣協会と締結し、これまで公費負担していた公用封筒を民間ノウハウを活用し無償で取得することができた。				75
						係数	
						50 点数 37.50点	
CHECK	取組課題	今年度計画を取り組むうえでどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。			課題の捉え方	評価指数	
		PPP/PFIについて、県下及び当町と同規模自治体での実施件数が少ないため、情報が少なく各課検討に苦慮している。今年度は関係部署と民間会社を交えてPPP/PFIに対するセミナーを開催したが、行政課題とコストを勘案すると具体的な検討には至っていない。			A～Eの5段階評価 A100点 2 B75点 11 C50点 3 D25点 0 E0点 0	73.44	
					係数		
					25 点数 18.36		
ACTION	改善方法	上記課題を来年度以降どのように改善していきますか。			改善方法の示され方	評価指数	
		PPP/PFIと従来の委託契約での事業実施におけるメリットデメリット等、各課に情報提供に努めていくとともに、既存の事業をより細分化したうえでの民間ノウハウの活用を再検討していく。			A～Eの5段階評価 A100点 2 B75点 11 C50点 3 D25点 0 E0点 0	73.44	
					係数		
					25 点数 18.36		
評価	個別点数	37.50 ／50点	18.36 ／25点	18.36 ／25点	＝	総合評価	74.22点 ／100点

平成29年度 第4次邑楽町行政改革大綱施策評価シート

分類	基本目標	基本目標_2_信頼に応える行財政運営のまち			基本方針	基本方針_6_財政運営の健全性の確保		
	施策の方向性	施策_18_計画的な財政運営			担当課	総務課		
PLAN	取組内容	・中長期的視野に基づいた継続的な収支均衡と義務的経費や経常的経費の節減、財政状況の分析、補助金の見直しも含めた事務事業の慎重な選択など健全な財政運営を推進します。また、財政状況を定期的に公開し透明性の高い予算執行に努めます。						
	改革項目名称	住民に開かれた財政運営						
	期待される効果	財政分析や事務事業の見直しを行うことにより、健全な財政運営を行う。 住民の町財政への関心を高める。						
	年度	H28	H29	H30	H31	H32		
	単年度計画内容	・財政分析の実施による財政の健全性の検討 ・補助金等審査委員会による新規補助金の検討 ・財政状況の公表方法の検討	・財政分析の実施による財政の健全性の検討 ・補助金等審査委員会による新規補助金の検討 ・財政状況の公表方法の検討	・財政分析の実施による財政の健全性の検討 ・補助金等審査委員会による新規補助金の検討 ・財政状況の公表方法の検討	・財政分析を活用した財政計画の作成 ・補助金等審査委員会による新規及び既存補助金の審査・見直し ・財政状況の公表方法の検討	・財政計画による予算執行 ・補助金等審査委員会による新規及び既存補助金の審査・見直し ・財政状況の公表方法の検討		
	計画段階	研究		研究	研究	改革	改革	
DO	実績及び取組状況	取組状況	今年度具体的にどのような取組を行いましたか。				取組状況指数	
		D あまり取り組めていない	補助金審査委員会において、新規補助金の審査及び既存補助金の改正・廃止について検討を行った。広報により財政状況の報告を行った。				75	
						係数		
						50 点数 37.50点		
CHECK	取組課題	今年度計画を取り組むうえでどのような課題がありましたか。 また、今後どのような課題が想定されますか。				推進本部評価欄		
		財政分析を基にした財政の健全性の検討については、行うことが出来なかった。				課題の捉え方	評価指数	
						A～Eの5段階評価 A100点 1 B75点 5 C50点 5 D25点 5 E0点 0	53.13 係数 25 点数 13.28	
ACTION	改善方法	上記課題を来年度以降どのように改善していきますか。				改善方法の示され方	評価指数	
		財政分析による健全性の指標等について検討を行い、邑楽町財政計画を策定する。また、財政状況の公表についても、住民にわかりやすく興味を持ってもらう工夫を行う。				A～Eの5段階評価 A100点 2 B75点 7 C50点 5 D25点 2 E0点 0	64.06 係数 25 点数 16.02	
評価	個別点数	37.50 ／50点	13.28 ／25点	16.02 ／25点	＝	総合評価	66.80点 ／100点	

平成29年度 第4次邑楽町行政改革大綱施策評価シート

分類	基本目標	基本目標_2_信頼に応える行財政運営のまち			基本方針	基本方針_6_財政運営の健全性の確保		
	施策の方向性	施策_18_計画的な財政運営			担当課	総務課		
PLAN	取組内容	・地方公会計の整備を図ることにより、資産や債務の正確な把握と管理を行い、予算編成や決算分析に活用していくとともに、財務情報の分かりやすい開示に努めます。						
	改革項目名称	新地方公会計基準の財務書類作成						
	期待される効果	地方公会計の整備を図ることにより、資産や債務の正確な把握と管理を行い、予算編成や決算分析に活用していくとともに、財務情報の分かりやすい開示が行える						
	年度	H28	H29	H30	H31	H32		
	単年度計画内容	・新地方公会計基準の財務書類作成のためのシステム環境整備(PC購入、ソフトウェアDL、初期設定)、固定資産台帳の整備を行う。 ・複式簿記の研修に参加し知識を高める	・新地方公会計基準の財務書類作成・公表	・新地方公会計基準の財務書類作成を継続する ・作成した新地方公会計基準の財務書類を自団体の予算編成や財政分析に役立てる。	・新地方公会計基準の財務書類作成を継続する ・作成した新地方公会計基準の財務書類を自団体の予算編成や財政分析に役立てる。	・新地方公会計基準の財務書類作成を継続する ・作成した新地方公会計基準の財務書類を自団体の予算編成や財政分析に役立てる。		
	計画段階	研究 改革 改善 改善 改善						
DO	実績及び取組状況	取組状況	今年度具体的にどのような取組を行いましたか。				取組状況指数	
		B 概ね計画どおり取り組んでいる	新地方公会計基準の財務書類の作成・公表を行った。				75	
							係数	
							50	
点数	37.50点							
CHECK	取組課題	今年度計画を取り組むうえでどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。				推進本部評価欄		
		公会計の作成については、専門的な知識が必要であり、仕訳の考え方など、町としての考え方を確立していく必要がある。				課題の捉え方	評価指数	
						A～Eの5段階評価 A100点 1 B75点 9 C50点 6 D25点 0 E0点 0	67.19	
							係数	25
点数	16.80							
ACTION	改善方法	上記課題を来年度以降どのように改善していきますか。				改善方法の示され方		
		公表した公会計をどのように財政運営に役立てていけるかを考えていく必要がある。				A～Eの5段階評価 A100点 0 B75点 5 C50点 11 D25点 0 E0点 0	57.81	
							係数	25
							点数	14.45
評価	個別点数	37.50 ／50点	16.80 ／25点	14.45 ／25点	＝	総合評価	68.75点 ／100点	

平成29年度 第4次邑楽町行政改革大綱施策評価シート

分類	基本目標	基本目標_2_信頼に応える行財政運営のまち			基本方針	基本方針_6_財政運営の健全性の確保		
	施策の方向性	施策_18_計画的な財政運営			担当課	安全安心課		
PLAN	取組内容	・下水道事業の経営基盤強化や財政マネジメントの向上に向けて、公営企業会計の導入について調査・研究していきます。						
	改革項目名称	下水道事業の公営企業会計導入に係る体制の整備						
	期待される効果	公営企業会計導入を見据えた体制の整備を事前に行うことで、将来的に導入となるような場合に確実に効率的な導入をすることができる。						
	年度	H28	H29	H30	H31	H32		
	単年度計画内容	近隣市町村の公営企業会計の導入実績等の調査研究	近隣市町村の公営企業会計の導入実績等の調査研究	同規模自治体の先進的な導入実績等の調査研究	公営企業会計導入へ向けた準備	公営企業会計に関する研修会等に参加し知識を高めていく		
	計画段階	研究		研究	研究	改革	改善	
DO	実績及び取組状況	取組状況	今年度具体的にどのような取組を行いましたか。				取組状況指数	
		C 一部取り組んでいる	地方自治体財政セミナー、地方公共団体金融機構が実施した公営企業会計研修会に参加				75	
							係数	
							50	
点数	37.50点							
CHECK	取組課題	今年度計画を取り組むうえでどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。			課題の捉え方	評価指数		
		人員不足により近隣市町村の実態について調査研究ができなかった。			A～Eの5段階評価 A100点 0 B75点 4 C50点 8 D25点 3 E0点 1	48.44		
						係数		
						25		
点数	12.11							
ACTION	改善方法	上記課題を来年度以降どのように改善していきますか。			改善方法の示され方	評価指数		
		公営企業会計への移行が本格的になる前に専属職員の確保。また、専属職員の研修派遣。財政処置も必要である。			A～Eの5段階評価 A100点 0 B75点 5 C50点 8 D25点 3 E0点 0	53.13		
						係数		
						25		
点数	13.28							
評価	個別点数	37.50 ／50点	12.11 ／25点	13.28 ／25点	＝	総合評価	62.89点 ／100点	

平成29年度 第4次邑楽町行政改革大綱施策評価シート

分類	基本目標	基本目標_2_信頼に応える行財政運営のまち			基本方針	基本方針_6_財政運営の健全性の確保		
	施策の方向性	施策_19_財源_歳入_の確保			担当課	税務課		
PLAN	取組内容	・適正な税の賦課に努めるとともに、個人住民税の特別徴収一斉指定及び口座振替の推奨など納税者の利便性を確保し収納率の向上を図ります。また、長期滞納者や高額滞納者などについては、納税への理解促進を図るとともに、「群馬県東部地区不動産合同公売」などを活用し適切な滞納処分を行います。						
	改革項目名称	個人住民税の特別徴収一斉指定の開始						
	期待される効果	納税方法の法令遵守の実施及び個人住民税の収納率の向上						
	年度	H28	H29	H30	H31	H32		
	単年度計画内容	- 県内市町村で構成するワーキンググループへの参加 - 課題の洗い出し、調整 - システム等の準備 - 指定予告通知書の発送	- 個人住民税の特別徴収一斉指定開始 - 新規事業所への発送、対応 - 未納事業所への電話催告等の実施	- 問題点の確認、改善策の検討 - 未実施事業所への取組み - 他市町村との情報共有	- 問題点の確認、改善策の検討 - 未実施事業所への取組み - 他市町村との情報共有	- 問題点の確認、改善策の検討 - 未実施事業所への取組み - 他市町村との情報共有		
	計画段階	研究 改革 改善 改善 改善						
DO	実績及び取組状況	取組状況	今年度具体的にどのような取組を行いましたか。				取組状況指数	
		A 計画どおり取り組んでいる	個人住民税の特別徴収一斉指定を実施した。初年度ということもあって、該当事業所からの問い合わせ、苦情等への対応をした。また、未納事業所への電話催告を実施した。邑楽町産業祭や確定申告会場においては、口座振替推進のポケットテッシュを配布し、収納率の向上に努めた。				75	
						係数		
						50 点数 37.50点		
CHECK	取組課題	今年度計画を取り組むうえでどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。 未実施事業所の把握及び実施の斡旋が課題である。				推進本部評価欄		
						課題の捉え方	評価指数	
						A～Eの5段階評価 A100点 4 B75点 4 C50点 8 D25点 0 E0点 0	68.75	
						係数	25 点数 17.19	
ACTION	改善方法	上記課題を来年度以降どのように改善していきますか。 県や近隣市町との情報共有及び同時歩調による指導の強化が必要である。				改善方法の示され方		
						評価指数		
						A～Eの5段階評価 A100点 2 B75点 6 C50点 7 D25点 1 E0点 0	64.06	
						係数	25 点数 16.02	
評価	個別点数	37.50 ／50点	17.19 ／25点	16.02 ／25点	＝	総合評価	70.71点 ／100点	

平成29年度 第4次邑楽町行政改革大綱施策評価シート

分類	基本目標	基本目標_2_信頼に応える行財政運営のまち			基本方針	基本方針_6_財政運営の健全性の確保		
	施策の方向性	施策_19_財源_歳入_の確保			担当課	総務課		
PLAN	取組内容	・国や県の資金の導入、有利な地方債の活用等を図り、一般財源の充当を抑制します。						
	改革項目名称	活用できる資金や地方債の掘り起こし						
	期待される効果	交付金や有利な地方債を活用することで、一般財源の確保につながる						
	年度	H28	H29	H30	H31	H32		
	単年度計画内容	・活用できる資金の掘り起こし及び起債の活用方法の検討	・活用できる交付金事業への変更方法の検討 ・地方債の検討	・既存事業の見直しや新規事業における交付金、有利な地方債の掘り起こし ・地方債の検討	・既存事業の見直しや新規事業における交付金、有利な地方債の掘り起こし ・地方債の検討	・既存事業の見直しや新規事業における交付金、有利な地方債の掘り起こし ・地方債の検討		
	計画段階	研究 → 改革 → 改善 → 改善 → 改善						
DO	実績及び取組状況	取組状況	今年度具体的にどのような取組を行いましたか。				取組状況指数	
		C 一部取り組んでいる	新規事業における国費等の導入及び地方債等の検討を行った。				75	
							係数	
							50	
							点数	
37.50点								
CHECK	取組課題	今年度計画を取り組むうえでどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。				推進本部評価欄		
		既存事業の掘り起こしを行うまでには至らなかった。				課題の捉え方	評価指数	
						A～Eの5段階評価 A100点 0 B75点 3 C50点 6 D25点 6 E0点 1	42.19	
							係数	
							25	
10.55								
ACTION	改善方法	上記課題を来年度以降どのように改善していきますか。				改善方法の示され方		
		活用できる交付金等の事業再検証を行い、一般財源の充当を抑制する。有利な地方債の検証と、繰り上げ償還等の検討を行う。				A～Eの5段階評価 A100点 1 B75点 5 C50点 9 D25点 1 E0点 0	59.38	
							係数	
							25	
							14.85	
評価	個別点数	37.50 ／50点	10.55 ／25点	14.85 ／25点	≡	総合評価	62.90点 ／100点	

平成29年度 第4次邑楽町行政改革大綱施策評価シート

分類	基本目標	基本目標_2_信頼に応える行財政運営のまち			基本方針	基本方針_6_財政運営の健全性の確保		
	施策の方向性	施策_19_財源_歳入_の確保			担当課	企画課		
PLAN	取組内容	・広告事業などによる収入の確保を図ります。						
	改革項目名称	新規広告事業創設						
	期待される効果	既存広告事業による収入の確保及び新規広告事業創出による支出の節減						
	年度	H28	H29	H30	H31	H32		
	単年度計画内容	・本町既存広告事業の改善策の研究 ・新規広告事業研究・創出	・既存広告事業の改善策の研究 ・新規広告事業の実施	・既存広告事業の改善策の研究 ・新規広告事業の改善	・既存広告事業の改善策の研究 ・新規広告事業の改善	・既存広告事業の改善策の研究 ・新規広告事業の改善		
	計画段階	改革 改善 改善 改善 改善						
DO	実績及び取組状況	取組状況	今年度具体的にどのような取組を行いましたか。				取組状況指数	
		A 計画どおり取り組んでいる	昨年度に引き続き、広告入り公用封筒の作成及び無償提供に関する協定書を(株)郵宣協会と締結し、これまで公費負担していた公用封筒を無償で取得することができた。また、既存広告事業については、商工会を通じて広告募集のチラシを配布するなど、広告未掲載枠の募集推進を図り、前年比144%増の収入を得た。				75	
						係数		
						50 点数 37.50点		
CHECK	取組課題	今年度計画を取り組むうえでどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。			課題の捉え方		評価指数	
		既存広告事業においては募集推進を図ったが、ホームページ上の有料広告の売り上げが伸び悩んでいる。			A～Eの5段階評価 A100点 2 B75点 10 C50点 4 D25点 0 E0点 0		71.88	
							係数	
							25 点数 17.97	
ACTION	改善方法	上記課題を来年度以降どのように改善していきますか。			改善方法の示され方		評価指数	
		ホームページのリニューアルを図り、情報発信を充実させるのはもちろんのこと、移住検討者など住民以外の方にも閲覧してもらえるような魅力的なものにしていく。閲覧件数を増加させ、企業等に掲載メリットを明確にしていく。また、他市町の募集方法を研究していく。			A～Eの5段階評価 A100点 4 B75点 10 C50点 2 D25点 0 E0点 0		78.13	
							係数	
							25 点数 19.53	
評価	個別点数	37.50 ／50点	17.97 ／25点	19.53 ／25点	＝	総合評価	75.00点 ／100点	

平成29年度 第4次邑楽町行政改革大綱施策評価シート

分類	基本目標	基本目標_2_信頼に応える行財政運営のまち			基本方針	基本方針_6_財政運営の健全性の確保		
	施策の方向性	施策_19_財源_歳入_の確保			担当課	都市建設課(商工)		
PLAN	取組内容	・土地利用計画の調整を行い、新たな産業団地の造成を推進するとともに、雇用創出や産業振興に大きく寄与する企業誘致等を推進します。						
	改革項目名称	新産業団地の事業化への取組開始						
	期待される効果	企業を誘致することで、雇用の場が創出されるとともに、地域経済が活性化されるほか、固定資産税、法人税の収収が見込まれ、財源の確保を図ることができる。						
	年度	H28	H29	H30	H31	H32		
	単年度計画内容	・新産業団地の造成候補地を選定する。 (選定地区1地区・選定準備地区1地区)	・新産業団地造成候補地のうち選定地区につき、治水協議を行う。 ・農林調整、治水協議の進捗状況により、地元への意向調査及び地権者連絡協議会の立ち上げを行う。	・選定地区の市街化区域編入に向け、一般保留解除資料及び都市計画法定手続き資料の作成を行う。 ・用地買収に向け、地権者交渉を行う。	・新産業団地造成工事に着手する。	・新産業団地造成工事の完成を見込み、分譲PR活動を行う。		
	計画段階	研究		改革		改革		改革
DO	実績及び取組状況	取組状況	今年度具体的にどのような取組を行いましたか。				取組状況指数	
		C 一部取り組んでいる	・河川管理者と協議の上、治水協議に必要な洪水調整池規模算定の業務委託を行い、一定の結論を導いた。 ・治水協議は途上であるが、上記業務委託の結果が芳しくなく、地元調整に入るに至らなかった。				75	
							係数	
							50	
							点数	
37.50点								
CHECK	取組課題	今年度計画を取り組むうえでどのような課題がありましたか。 また、今後どのような課題が想定されますか。				推進本部評価欄		
		・治水に関しては、近年頻発する水害事例や浸水想定リスクの見直しに伴い条件が増大しており、今後業務委託の結果を基に河川管理者及び下流水路管理者と引き続き治水協議を行うが、費用対効果の観点から、洪水調整池の規模が事業化を左右することとなる。				課題の捉え方	評価指数	
						A～Eの5段階評価 A100点 2 B75点 10 C50点 2 D25点 1 E0点 0	73.44	
							係数	
							25	
18.36								
ACTION	改善方法	上記課題を来年度以降どのように改善していきますか。				改善方法の示され方		評価指数
		・引き続き関係機関と協議を行い、事業化が推進できる判断材料を検討していきたい。				A～Eの5段階評価 A100点 2 B75点 7 C50点 7 D25点 0 E0点 0	67.19	
							係数	
							25	
							16.80	
評価	個別点数	37.50	18.36	16.80	≡	総合評価	72.66点	
		／50点	／25点	／25点			／100点	

平成29年度 第4次邑楽町行政改革大綱施策評価シート

分類	基本目標	基本目標_2_信頼に応える行財政運営のまち			基本方針	基本方針_6_財政運営の健全性の確保		
	施策の方向性	施策_20_公有財産の適正管理			担当課	総務課		
PLAN	取組内容	・公有財産については、適正な管理と利用に努め、未利用の普通財産については、処分または貸付け等の有効活用を図ります。						
	改革項目名称	財産の有効活用計画の策定						
	期待される効果	管理費の抑制及び収入の確保						
	年度	H28	H29	H30	H31	H32		
	単年度計画内容	・公有財産の洗出し ・利用価値の検討 ・売買予定地の不動産鑑定	・貸付及び処分の検討 ・売り払い ・売買予定地の不動産鑑定	・貸付及び処分の検討 ・売り払い ・売買予定地の不動産鑑定	・貸付及び処分の検討 ・売り払い ・売買予定地の不動産鑑定	・管理費が掛り、資産価値の低い土地をなくし、資産を生み出す土地とすることを目指した財産の有効活用計画の策定		
	計画段階	研究		研究	研究	研究	改革	
DO	実績及び取組状況	取組状況	今年度具体的にどのような取組を行いましたか。				取組状況指数	
		C 一部取り組んでいる	売買予定地の入札を行った。				75	
							係数	
							50	
点数	37.50点							
CHECK	取組課題	今年度計画を取り組むうえでどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。				推進本部評価欄		
		入札が不調になったため、今後は予定価格の考え方等の検討を行う必要がある。また、売買ではなく貸付け等の検討も行っていく必要がある。				課題の捉え方	評価指数	
						A～Eの5段階評価 A100点 1 B75点 10 C50点 5 D25点 0 E0点 0	68.75	
							係数	25
点数	17.19							
ACTION	改善方法	上記課題を来年度以降どのように改善していきますか。				改善方法の示され方		
		長期的に見た、公有財産の考え方をもち、管理費等の削減も含め、売買と貸付の検討を行っていく。				A～Eの5段階評価 A100点 1 B75点 8 C50点 7 D25点 0 E0点 0	65.63	
							係数	25
							点数	16.41
評価	個別点数	37.50 ／50点	17.19 ／25点	16.41 ／25点	＝	総合評価	71.10点 ／100点	

平成29年度 第4次邑楽町行政改革大綱施策評価シート

分類	基本目標	基本目標_2_信頼に応える行財政運営のまち			基本方針	基本方針_6_財政運営の健全性の確保		
	施策の方向性	施策_20_公有財産の適正管理			担当課	会計課(総務課)		
PLAN	取組内容	・公金については、最も有利かつ確実な運用に努めるとともに、適正で効率的な出納の執行や物品などの管理を行います。						
	改革項目名称	公金の安全を図るとともに資金運用の拡大を行う						
	期待される効果	公金管理運用指針の見直しによる運用収入により、町財政の増額を確保						
	年度	H28	H29	H30	H31	H32		
	単年度計画内容	公金管理運用指針について、見直しを含め現在の環境に適切しているか郡会計部会などをして調査研究。 ・物品の適正管理	・公金管理運用指針の見直しを行う。基金の一部を決済用普通貯金から普通預金、定期預金に積替え、利息を得る。 ・物品の適正管理	公金管理運用指針について、現状の環境に適切しているかを含め、常に見直し・調査研究を行い公金の安全を図るとともに資金運用の拡大を行う。 ・物品の適正管理	公金管理運用指針について、現状の環境に適切しているかを含め、常に見直し・調査研究を行い公金の安全を図るとともに資金運用の拡大を行う。 ・物品の適正管理	公金管理運用指針について、現状の環境に適切しているかを含め、常に見直し・調査研究を行い公金の安全を図るとともに資金運用の拡大を行う。 ・物品の適正管理		
	計画段階	研究 → 改革 → 改善 → 改善 → 改善						
DO	実績及び取組状況	取組状況	今年度具体的にどのような取組を行いましたか。				取組状況指数	
		C 一部取り組んでいる	長年懸案であった基金の運用については、2月にすべて決済用普通預金から普通預金及び定期預金に積み替えを行った。				75	
							係数	
							50	
点数								
37.50点								
CHECK	取組課題	今年度計画を取り組むうえでどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。				推進本部評価欄		
		邑楽町公金管理運用指針の見直しを行ったが、公金の運用については、経済情勢等の変化に注意し、最も有利かつ確実の運用に努めたい。物品の適正管理については、システム導入について検討中				課題の捉え方	評価指数	
						A～Eの5段階評価 A100点 2 B75点 9 C50点 5 D25点 0 E0点 0	70.31	
							係数	
25								
点数								
17.58								
ACTION	改善方法	上記課題を来年度以降どのように改善していきますか。				改善方法の示され方		
		財務会計の契約に合わせて備品管理台帳の環境整備の導入を検討。運用管理については、県の研修及び証券会社の説明会等に積極的に参加して情報収集に努める。また、短期的でも、普通預金から定期預金への積み替えを行う。				A～Eの5段階評価 A100点 2 B75点 8 C50点 6 D25点 0 E0点 0	68.75	
							係数	
							25	
点数								
17.19								
評価	個別点数	37.50 ／50点	17.58 ／25点	17.19 ／25点	＝	総合評価	72.27点 ／100点	

平成29年度 第4次邑楽町行政改革大綱施策評価シート

分類	基本目標	基本目標_2_信頼に応える行財政運営のまち			基本方針	基本方針_6_財政運営の健全性の確保		
	施策の方向性	施策_21_経費の削減と使用料の適正化			担当課	総務課		
PLAN	取組内容	・県内市町村と電子入札システムを共同利用し、事務効率の向上や運用経費の抑制を図ります。また、公平で競争性の高い入札を推進します。						
	改革項目名称	電子入札システム推進事業						
	期待される効果	入札に係る事務手続の省力化及び入札、契約制度の透明性、公平性、競争性の向上並びに入札参加者の利便性の向上を図る。						
	年度	H28	H29	H30	H31	H32		
	単年度計画内容	・役場内における契約状況調査(電子入札の実施件数、可能件数など)	・入札結果を閲覧以外に町HPで公表。 ・役場内にて、紙入札から電子入札への導入に向けた検討会を実施。	・入札参加者においても、町内建設業者について説明会(デモストレーション)実施。	・原則として、すべての工事及び設計等の工事関係の業務委託については、電子入札システムを使用した入札を実施。	・電子入札推進事業をより充実させるため、問題点を改善する。 ・物品購入も含め、順次電子入札システムにて入札を実施準備。		
	計画段階	研究 → 改革 → 改善 → 改革 → 改善						
DO	実績及び取組状況	取組状況	今年度具体的にどのような取組を行いましたか。				取組状況指数	
		B 概ね計画どおり取組んでいる	入札結果と250万円の超える工事契約について、町HPにて翌月はじめに公表することが出来た。入札の電子化については、工事関連では関係課と協議し、業者もぐんま電子入札システムの知識習得をし、比較的スムーズに移行できた。				75	
						係数		
						50 点数 37.50点		
CHECK	取組課題	今年度計画を取り組むうえでどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。				推進本部評価欄		
		紙入札から電子入札は、ペーパーレス化とともに、会場に一同が集まり執行されることがないため、事務の効率化が図られるが、工事関連以外の一部の委託、物品購入業務については、電子入札を試行してみたが、受注者、発注者とも経験が浅く、システムの十分な理解と操作習熟にまだ時間がかかる。				課題の捉え方	評価指数	
						A～Eの5段階評価 A100点 5 B75点 9 C50点 1 D25点 1 E0点 0	78.13	
						係数		
ACTION	改善方法	上記課題を来年度以降どのように改善していきますか。				改善方法の示され方		
		入札を電子上で発注する際、事前準備として設計図書や指名業者、指名通知に違和感がないか、発注者側にもう一度確認し、業務の全体像をイメージし、発注者側で共有する。電子入札に不慣れな業者については、入札担当者は個別の案件毎に、より具体的に指示し、入札開札までの期間を長く設定し、余裕を持たせる。				A～Eの5段階評価 A100点 4 B75点 9 C50点 3 D25点 0 E0点 0		
						76.56		
						係数		
評価	個別点数	37.50 ／50点	19.53 ／25点	19.14 ／25点	≡	総合評価	76.17点 ／100点	

平成29年度 第4次邑楽町行政改革大綱施策評価シート

分類	基本目標	基本目標_2_信頼に応える行財政運営のまち			基本方針	基本方針_6_財政運営の健全性の確保		
	施策の方向性	施策_21_経費の削減と使用料の適正化			担当課	総務課		
P L A N	取組内容	・庁舎内の郵送料、電話料、電気料等事務的経費の節減を図るため、職員のコスト意識の向上や消耗品などの管理徹底を図ります。						
	改革項目名称	全職場における省エネの取組						
	期待される効果	職員のコスト意識の向上及び庁舎内の事務的経費の節減						
	年度	H28	H29	H30	H31	H32		
	単年度計画内容	・庁舎内各部署に省エネへの取組を依頼する。 ・庁舎内の省エネを推進する省エネ委員の選出方法等について検討する。	・省エネ委員を選出し、省エネについての検討会を実施する。 ・検討会で提案された現状からの改善点、省エネの推進方法等についてまとめる。	・検討会で提案された現状からの改善点、省エネの推進方法等を基に省エネを推進する。 ・省エネの取組状況を調査する。 ・省エネの取組状況により省エネの推進方法について改善を検討する。	・省エネについての検討会を実施する。 ・省エネの取組状況を調査する。 ・省エネの取組状況により推進方法について改善を検討する。	・検討会で提案された現状からの改善点、省エネの推進方法等を基に省エネを推進する。 ・省エネの取組状況を調査する。 ・省エネの取組状況により推進方法について改善を検討する。		
	計画段階	研究		改革	改善	改善	改善	
D O	実績及び取組状況	取組状況	今年度具体的にどのような取組を行いましたか。				取組状況指数	
		A 計画どおり取り組んでいる	各課(局)1名省エネ推進担当者を選出し、担当者会議を開催した。 会議では、担当者の役割及び「エアコンに関する省エネ活動」「スイッチオフ等に関する省エネ活動」「用紙使用枚数に関する省エネ活動」「ゴミの捨て方に関する省エネ活動」について(案)を示し、また身近にできる省エネ活動について検討を行った。				75	
							係数	
							50	
							点数 37.50点	
C H E C K	取組課題	今年度計画を取り組むうえでどのような課題がありましたか。 また、今後どのような課題が想定されますか。 省エネ推進委員のみならず、職場全体で取り組む意識があるかどうか。			推進本部評価欄			
			課題の捉え方	評価指数				
			A～Eの5段階評価 A100点 1 B75点 6 C50点 8 D25点 1 E0点 0	60.94				
				係数				
				25				
点数 15.24								
A C T I O N	改善方法	上記課題を来年度以降どのように改善していきますか。 省エネ講習会を開催し、各課(局)ごとに取り組み状況を調査し、必要に応じて改善を検討する。			改善方法の示され方			
			評価指数					
			64.06					
			係数					
			25					
点数 16.02								
評価	個別点数	37.50 ／50点	15.24 ／25点	16.02 ／25点	＝	総合評価	68.76点 ／100点	

平成29年度 第4次邑楽町行政改革大綱施策評価シート

分類	基本目標	基本目標_2_信頼に応える行財政運営のまち			基本方針	基本方針_6_財政運営の健全性の確保		
	施策の方向性	施策_21_経費の削減と使用料の適正化			担当課	生涯学習課		
PLAN	取組内容	・各種使用料や手数料を見直し、受益者負担を基本とした料金体系の整備を検討します。						
	改革項目名称	社会教育施設における使用料の見直し						
	期待される効果	社会教育施設に係る維持管理経費の財源確保及び利用者の当事者意識の向上						
	年度	H28	H29	H30	H31	H32		
	単年度計画内容	他市町村の事例研究 基本方針の検討 庁内関係各部署間の調整 条例・規則案の検討	条例・規則案の決定 町民・利用者への周知 議会への上程	運用開始 町民・利用者の意見聴取 運用実態や町民等からの意見を踏まえたさらなる見直しの検討	運用実態や町民等からの意見を踏まえたさらなる見直しの検討・改善	運用実態や町民等からの意見を踏まえたさらなる見直しの検討・改善		
	計画段階	研究		研究	改革	改善	改善	
DO	実績及び取組状況	取組状況	今年度具体的にどのような取組を行いましたか。				取組状況指数	
		A 計画どおり取り組んでいる	調整会議、ワーキンググループによる検討を踏まえて、条例・規則案を作成。広報誌での周知、公民館利用団体への説明会等を経て、町議会及び教育委員会で議決を得た。				75	
						係数		
						50 点数 37.50点		
CHECK	取組課題	今年度計画を取り組むうえでどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。			課題の捉え方		評価指数	
		何度も町民への周知や利用団体への説明を行ってきたが、それでも100パーセントの理解を得ているとは言えない。特に施行期日が近づいてくるに従って、具体的な意見や提案が出てくるようになった。今後も実際に使用料を徴収する段階で、さまざまな意見が出てくる可能性がある。			A～Eの5段階評価 A100点 7 B75点 6 C50点 3 D25点 0 E0点 0		81.25	
					係数			
					25 点数 20.31			
ACTION	改善方法	上記課題を来年度以降どのように改善していきますか。			改善方法の示され方		評価指数	
		あらゆる場面で丁寧な説明を行って理解を求めると共に、制度的に改善が必要な点が明らかになった場合は、関係機関と十分な協議の上、適宜対応を行っていく。			A～Eの5段階評価 A100点 6 B75点 6 C50点 4 D25点 0 E0点 0		78.13	
					係数			
					25 点数 19.53			
評価	個別点数	37.50 ／50点	20.31 ／25点	19.53 ／25点	＝	総合評価	77.34点 ／100点	

平成29年度 第4次邑楽町行政改革大綱施策評価シート

分類	基本目標	基本目標_2_信頼に応える行財政運営のまち			基本方針	基本方針_7_広域行政の推進		
	施策の方向性	施策_22_事務組合の推進と強化			担当課	安全安心課(健福)		
PLAN	取組内容	・可燃ごみ処理施設の広域化など既存の一部事務組合を構成する市町との連携を強化するとともに、共通の行政課題への対応や、さらなる事務の効率化に向けて、効果的な共同処理のあり方など、事務組合の充実・強化に努めます。						
	改革項目名称	太田市外三町広域一般廃棄物処理施設建設に伴う住民説明会の開催						
	期待される効果	広域化を図ることにより、建設費や運営コストの削減及び環境負荷の低減や熱エネルギーの回収を図ることができる						
	年度	H28	H29	H30	H31	H32		
	単年度計画内容	・ごみの減量化及び資源化を強化する。 ・新ごみ処理施設の協議を行う。	・ごみの減量化及び資源化を強化するために、ごみ袋の有料化についての検討を行う。 ・新ごみ処理施設建設に伴う中継施設等の検討を行う。 ・制度改革に向けて調査・研究を行う。	・ごみの減量化及び資源化を強化するために、ごみ袋の有料化についての協議を行う。 ・新ごみ処理施設建設に伴う中継施設等の協議を行う。 ・制度改革に向けて協議を行う。	・ごみの減量化及び資源化を強化するために、住民説明会等を開催する。	・ごみの減量化及び資源化を更に強化するために、住民説明会等を開催する。		
	計画段階	研究		研究	研究	改革	改善	
DO	実績及び取組状況	取組状況	今年度具体的にどのような取組を行いましたか。				取組状況指数	
		B 概ね計画どおり取り組んでいる	・ごみの有料化及び指定ごみ袋について検討を行った。 ・新ごみ処理施設建設に伴う中継施設等の検討を行った。				75	
							係数	
							50	
CHECK	取組課題	今年度計画を取り組むうえでどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。				推進本部評価欄		
		・ごみの減量化・資源化強化のため、ごみの有料化及び指定ごみ袋について ・新ごみ処理施設建設に伴う中継施設等の在り方について				課題の捉え方	評価指数	
						A～Eの5段階評価 A100点 1 B75点 7 C50点 7 D25点 1 E0点 0	62.5	
							ACTION	改善方法
・ごみの減量化・資源化強化のため、ごみの有料化及び指定ごみ袋についての協議を行う。 ・新ごみ処理施設建設に伴う中継施設等の協議を行う。				A～Eの5段階評価 A100点 0 B75点 6 C50点 9 D25点 1 E0点 0	57.81			
					係数			
					25			
評価	個別点数	37.50	15.63	14.45	≡	総合評価	67.58点	
		／50点	／25点	／25点			／100点	

平成29年度 第4次邑楽町行政改革大綱施策評価シート

分類	基本目標	基本目標_2_信頼に応える行財政運営のまち			基本方針	基本方針_7_広域行政の推進		
	施策の方向性	施策_23_広域協議会などによる連携			担当課	企画課(都建)		
PLAN	取組内容	・公共交通や都市基盤整備といった広範囲にわたり、本町だけでは解決できない課題については、既存の広域のあり方に捉われず、周辺市町及び国・県等と連携して要望活動を含めた整備促進を促します。						
	改革項目名称	広域協議会などとの連携強化						
	期待される効果	行政における諸問題について、広域で解決又は解決に向けた要望活動を行うことで、迅速効果的に整備促進を促す。						
	年度	H28	H29	H30	H31	H32		
	単年度計画内容	①1市4町で運行している館林・邑楽・千代田線と町単独運航の邑楽～太田線の邑楽町役場での結節を検討 ②鉄道の乗り継ぎの改善や運行時間の延長など利用者増の施策を要望	①コミュニティバス2路線の結節に向けて、交通会議開催 ②鉄道の乗り継ぎの改善や運行時間の延長など利用者増の施策を要望	①コミュニティバス2路線の結節 ②鉄道の乗り継ぎの改善や運行時間の延長など利用者増の施策を要望	①コミュニティバスの結節後の諸問題抽出 ②鉄道の乗り継ぎの改善や運行時間の延長など利用者増の施策を要望	①コミュニティバスの結節後の諸問題解決策の検討 ②鉄道の乗り継ぎの改善や運行時間の延長など利用者増の施策を要望		
	計画段階	研究 改善 改革 改善 改善						
DO	実績及び取組状況	取組状況	今年度具体的にどのような取組を行いましたか。				取組状況指数	
		A 計画どおり取り組んでいる	町の公共バス2路線【邑楽～太田線と館林・邑楽・千代田線】を平成30年4月1日から邑楽町役場で結節するための関係機関への申請や協議会の開催等経路変更事務を行った。 また、東武鉄道促進期成同盟会(7市5町)により、乗車啓発活動や東武本社への小泉線の利便性の向上や、特急りょうもう号の最終便増設などの要望活動を行い、鉄道交通の更なる推進を行った。				75	
							係数	
							50 点数 37.50点	
CHECK	取組課題	今年度計画を取り組むうえでどのような課題がありましたか。 また、今後どのような課題が想定されますか。			推進本部評価欄			
		① 関係機関の協議や申請に予想以上に時間が掛かり、住民等への路線変更周知が遅くなってしまった。 ② 乗り継ぎの改善は徐々に改善されつつあるが、運行本数の増便は、需要分析の結果、費用対効果が望めないとの回答			課題の捉え方		評価指数	
					A～Eの5段階評価 A100点 2 B75点 11 C50点 2 D25点 1 E0点 0		71.88	
							係数 25 点数 17.97	
ACTION	改善方法	上記課題を来年度以降どのように改善していきますか。			改善方法の示され方			
		① 次回変更時には、共同運行自治体及び運行业者と連携を密にし、関係機関への申請を早期に行う。 ② 地方の魅力を発信する事業で人の流れを都市部から地方へと作り、需要の掘り起こしをする。			A～Eの5段階評価 A100点 2 B75点 8 C50点 5 D25点 1 E0点 0		67.19	
							係数 25 点数 16.80	
評価	個別点数	37.50 ／50点	17.97 ／25点	16.80 ／25点	≡	総合評価	72.27点 ／100点	

平成29年度 第4次邑楽町行政改革大綱施策評価シート

分類	基本目標	基本目標_2_信頼に応える行財政運営のまち			基本方針	基本方針_7_広域行政の推進		
	施策の方向性	施策_23_広域協議会などによる連携			担当課	企画課		
PLAN	取組内容	・両毛地域の公共施設の相互利用をさらに促進するなど、広域協議会や広域同盟会の事務事業の充実を図ります。						
	改革項目名称	交流人口増加施策の充実						
	期待される効果	両毛広域圏の交流人口を増やすことにより、町の良さをPRし移住定住に繋げる。						
	年度	H28	H29	H30	H31	H32		
	単年度計画内容	交流人口の増加に繋げる施策の実施	交流人口の増加に繋げる施策の改善実施	交流人口の増加に繋げる施策の改善実施	・交流人口の増加に繋げる施策の改善実施 ・新規事業創設を含めた既存事業内容の見直し	交流人口の増加に繋げる施策の改善実施		
	計画段階	改善		改善	改善	改革	研究	
DO	実績及び取組状況	取組状況	今年度具体的にどのような取組を行いましたか。				取組状況指数	
		A 計画どおり取り組んでいる	・両毛広域管内の自治体と連携して、両毛地域への集客・交流を図り一体的な都市圏整備の気運醸成を図るため「両毛グルメシールラリー」を実施し、多くの交流人口を生み出した。※応募者数 2,503人(前年比+620人)※邑楽町シール発行枚数1,956枚(構成自治体中1位) また、邑楽郡内の自治体合同で婚活イベントを実施し町のPRを行った。				75	
						係数		
						50 点数 37.50点		
CHECK	取組課題	今年度計画を取り組むうえでどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。			推進本部評価欄			
		「両毛グルメシールラリー」は交流人口増加施策として当町においては非常に有効であったが、両毛グルメシールラリー参加店のいくつかの店舗で、事業内容が十分に理解されず取扱が異なる事案が発生した。			課題の捉え方	評価指数		
					A～Eの5段階評価 A100点 1 B75点 10 C50点 5 D25点 0 E0点 0	68.75		
					係数	25 点数 17.19		
ACTION	改善方法	上記課題を来年度以降どのように改善していきますか。			改善方法の示され方		評価指数	
		両毛グルメシールラリー参加店に事業内容及び対応マニュアル等を再徹底し、参加店舗間の取扱が異ならないようにする。					65.63	
					A～Eの5段階評価 A100点 1 B75点 9 C50点 5 D25点 1 E0点 0	係数	25 点数 16.41	
評価	個別点数	37.50 ／50点	17.19 ／25点	16.41 ／25点	＝	総合評価	71.10点 ／100点	